



# 履修要項

令和3年度 入学生用

*College of Nagoya Women's University*

名古屋女子大学短期大学部

# 目次

はじめに	3
<b>I. 単位制度について</b>	4
<b>II. 卒業要件について</b>	5
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	5
<b>III. 教育課程</b>	7
カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）	7
全学共通科目	8
生活学科	9
1. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）	9
2. 授業科目について	9
3. コース概要	9
4. 教育課程について	10
カリキュラムマップ	13
カリキュラムツリー	14
保育学科 第一部・第三部	16
1. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）	16
2. 授業科目について	16
3. 保育学科で取得できる資格・免許状	16
4. 教育課程について	17
カリキュラムマップ	20
カリキュラムツリー	22
取得した資格・検定に対する単位認定科目（生活学科）	26
生活学科・保育学科において修得可能な開放科目	26
<b>IV. 免許・資格</b>	27
1. 教員免許状	27
2. 保育士	30
3. 上級情報処理士・情報処理士資格	33
4. 秘書士資格	33
5. 上級ビジネス実務士・ビジネス実務士資格	33
6. フォーマルスペシャリスト検定準2級（ブロンズライセンス）資格	33
7. ドレメ式洋裁教員認定資格	34
8. レストランサービス技能士3級国家検定技能資格	34
9. フードコーディネーター3級認定資格	34
10. 医療秘書実務士資格	34

V. 海外留学 .....	35
「留学」について .....	35
VI. 履修の案内 .....	36
1. 履修登録について .....	36
2. 授業及び試験について .....	38
<b>授業</b> .....	38
〔1〕授業の開講形態 / 〔2〕授業時間割 / 〔3〕授業・試験時間 / 〔4〕休講 /	
〔5〕補講 / 〔6〕欠席・遅刻・早退	
<b>試験</b> .....	39
〔1〕試験の種類と方法 / 〔2〕期末試験 / 〔3〕追試験 / 〔4〕やむを得ない理由	
を証明する書類 / 〔5〕再試験 / 〔6〕追・再試験手続一覧 / 〔7〕受験資格 /	
〔8〕受験時の諸注意（期末試験、追・再試験）	
3. 成績について .....	43
〔1〕成績評価・単位の認定 / 〔2〕成績の通知 / 〔3〕成績の問い合わせ	
4. GPAについて .....	44
5. 単位互換制度について .....	45
<b>教務関係の用語</b> .....	46

## はじめに

短期大学は、小学校、中学校、高等学校の勉学の仕方と、大きく異なる点があります。それは、何に対しても、これまでのように指示を待つのではなく、自分から学ぼうとする姿勢を持たねばならないということです。その際にこの『履修要項』が大きな役割を果たすことと思います。卒業する時まで必要に応じて活用し、単位数が不足して卒業できないということのないよう十分注意してください。

まず最初に、単位制度と卒業要件の説明があります。短期大学では単位制が採用され、卒業に必要な単位数が決められています。また、修得した単位には、あらかじめ決められた必修科目と選択科目が含まれていなければ卒業できません。

次に教育課程（カリキュラム）が掲載されています。どの授業科目を履修するかを決めるときは、「授業計画（シラバス）」とともに参考にしてください。免許や資格については、「Ⅳ．免許・資格」で、留学については、「Ⅴ．海外留学」で詳しく説明しています。

それから、履修の案内があります。単位を修得するためには履修登録をしなければなりません。期日が決められている上、なかなか面倒な手続きです。この要項をよく読んで、提出期限に遅れたり、手続き方法を間違えたりしないよう十分注意してください。もし提出が遅れると授業が受けられません。そのほか、授業時間、試験や成績のことについても書かれていますので、必ず目を通しておいてください。

学生の皆さんは、卒業まではこの『履修要項』を座右において、必要に応じてこの冊子を活用するようにしてください。また十分理解できないときは学生支援センターでたずねてください。



# I. 単位制度について

短大の授業科目の履修には、短大設置基準に基づく単位制を採用しています。

- 1) 単位制とは、各年次に配当されている授業科目を履修して、その授業科目に定められている単位を修得(所定の試験に合格)し、これらの単位を一定数蓄積することにより卒業(あるいは各種免許・資格が取得)できる制度をいいます。
- 2) 単位とは、一つの授業科目の修得に必要な時間を示す基準であり、試験(筆記、レポート等)に合格することにより、その授業科目の単位の修得が認められます。
  - 1 単位を修得するには、授業時間と授業時間外に必要な学修等をあわせて45時間の学修時間を必要とします。
- 3) 短大の授業時間は、通常45分を「1時間」の授業とみなし、「2時間」(=90分)の授業が基本の授業時間です。
- 4) 授業科目は、その内容、形態により講義、演習、実験・実習及び実技のいずれかの種類に分けられ、それぞれ1単位当たりの学修に必要な時間数(単位計算基準)が次のように定められています。

## 講義科目 (1単位に必要な授業時間数は15時間)

- 1 単位の場合 (毎週2時間の授業)×7.5回……………半期科目
- 2 単位の場合 (毎週2時間の授業)×15回……………半期科目
- 4 単位の場合 (毎週2時間の授業)×30回……………通年科目

## 演習科目 (1単位に必要な授業時間数は30時間)

- 1 単位の場合 (毎週2時間の授業)×15回……………半期科目
- 2 単位の場合 (毎週2時間の授業)×30回……………通年科目

## 実験・実習・実技科目 (1単位に必要な授業時間数は45時間。ただし、全学共通科目<体育・健康科目>のスポーツに必要な授業時間数は30時間)

- 1 単位の場合 (毎週3時間の授業)×15回……………半期科目
- 2 単位の場合 (毎週3時間の授業)×30回……………通年科目

### ●全学共通科目(スポーツ)

毎週2時間の授業 ×15回=30時間 = 1単位……………半期科目

各科目の授業形態、単位数、授業時間数(週時間数)は、「Ⅲ. 教育課程」の表を参照してください。  
なお、半期科目、通年科目は次に示すとおりです。

半期科目(前期科目、後期科目)

前期または後期の半年間原則として授業を行い、半年毎に単位認定をする科目

通年科目

1年間授業を行い、1年毎に単位認定をする科目

## Ⅱ．卒業要件について

### ディプロマポリシー（学位授与の方針）

#### 短期大学部

短期大学部では、建学の精神「学園の信条である『親切』を根幹として、個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った、よき家庭人であり力強い職能人としての女性を育成する」ことを踏まえ、深い専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を養うと共に、高い教養と高潔な品格を身につけた良き社会人を育成することを教育目的としています。

短期大学部で卒業時において学生が修得すべき資質・能力は、下記の3点です。

1. 自ら構築した審美眼および思考に基づき、創造力豊かに自己表現ができる。
2. 主体性を持って、人間・社会・自然における多様な課題を発見し、その課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
3. 他者への思いやりの精神を持ち、コミュニケーション能力を発揮し、多様な異文化を享受して社会性を高め、グローバルな視点に立って思考することができる。

#### 生活学科

生活に関する領域について、それぞれの専門的立場から貢献できる能力を備えつつ、理論と実践の両面から学びを探究して、先人の残した体系的知識を体得した学習成果を通して、将来に展開するための考え方や技能を修得した者に、短期大学士（生活学）を授与します。

具体的には、短期大学部生活学科で卒業時において学生が修得すべき資質・能力は、下記の3点です。

1. 自ら構築した審美眼および思考に基づき、創造力豊かにファッション分野・食分野・情報分野において自己表現ができる。
2. 主体性を持って、ファッション分野・食分野・情報分野についての専門的知識・技能を修得し、かつ生活学を理論と実践の両面から探究した立場から、人間・社会・自然における多様な課題を発見し、その課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
3. ファッション分野・食分野・情報分野において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

#### 保育学科

「福祉マインドを持った人間性豊かな保育士および幼稚園教諭」という保育の専門職として、社会や家庭で活躍するために、福祉の精神を具現化でき、諸問題について、他者と協調しながら倫理感を持って自主的に解決策を見出そうと努めることができる能力を身に付けた者に、短期大学士（保育学）を授与します。

具体的には、短期大学部保育学科で卒業時において学生が修得すべき資質・能力は、下記の3点です。

1. 自ら構築した保育・教育観および子どもへの意識に基づき、命の大切さを尊重し、それを守るための優しさを体得し、創造力豊かに子どもと接することができる。
2. 主体性を持って、保育・教育についての専門的知識・技能を習得した立場から、子どもたちを取り巻く環境である人間・社会・自然における多様な課題を発見し、それらの課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
3. 保育・教育分野において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

- 1) 短大を卒業するためには、2年以上在学し、学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

### 【生活学科】

授業科目の区分		卒業に必要な 修得単位数	小計	合計
全学 共通 科目	建学のこころ	1単位必修	13単位以上	63単位以上
	外国語科目群	2単位以上		
	健康科目群	2単位必修		
	教養教育科目群	8単位以上		
	単位互換科目・開放科目			
学科 専門 科目	学科基礎・総合科目群	14単位以上	50単位以上	
	コース基礎ユニット選択科目群	8単位以上		
	コース専修科目群	16単位以上		

※情報ビジネスコースはIT系、ファッションデザインコースはアパレル系、フードマネジメントコースは調理・食品系ユニットを1年で履修してください。なお、所属外コースの基礎ユニット選択科目については、2年中心の履修で進めてもらいますが、時間割の関係で履修できない場合があります。

※コース基礎ユニット選択科目群は、自分の所属するコースの科目・8単位を必ず履修してください。

※コース専修科目群は、自分の所属するコースの科目で最低16単位は履修してください。

※学科基礎・総合科目群で14単位、コース基礎ユニット選択科目群で8単位、コース専修科目群で16単位履修した場合、卒業に必要な残りの12単位以上は、学科専門科目(学科基礎・総合科目群、コース基礎ユニット選択科目群、コース専修科目群)の中から履修選択してください。

### 【保育学科 第一部・第三部】

授業科目の区分		卒業に必要な 修得単位数	小計	合計
全学 共通 科目	建学のこころ	1単位必修	15単位以上	68単位以上
	外国語科目群	2単位以上		
	健康科目群	3単位必修		
	教養教育科目群	9単位以上		
	単位互換科目・開放科目			
学科専門科目		53単位以上	53単位以上	

#### 開放科目

他学科で開講している専門科目のうち、「開放科目」に指定されている授業科目（詳しくは26ページ参照）を修得することができます。

修得した単位は8単位を上限として卒業要件に算入できます。

#### 単位互換科目

県内すべての4年制大学が加盟する愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に基づき他大学で単位互換向けに開放される科目及び、「名古屋女子大学と名古屋女子大学短期大学部の単位互換に関する協定書」に基づき名古屋女子大学で開放される科目を履修し、本学の単位として卒業要件に算入できる制度があります。詳しいことは学生支援センターに問い合わせてください。名古屋女子大学短期大学部の単位互換制度については45ページを参照してください。

# Ⅲ. 教育課程

## カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

短期大学部では、教育目的である「よき家庭人で力強い職能人」を実現するため、かつディプロマポリシーで提示した資質・能力が修得できるために、初年次教育・キャリア教育を含む「全学共通科目」と各学科の「専門科目」にて、学修課程を構成しています。

1. 自らの審美眼や思考を構築でき、人間・社会・自然における多様な課題が発見でき、他者および異文化の多様な思いや言動を享受できるようになるために、「全学共通科目」「専門科目」の講義科目を中心に、幅の広い知識を学ぶ。
2. コミュニケーション能力を発揮し、創造力豊かに自己表現ができるようになるために、「専門科目」の演習科目・実習科目を中心に、専門分野の技術を学び、自己の表現力を磨く。
3. 多様な課題について分析・解決でき、他者と自己および多様な文化が融合できるようになるために、「専門科目」の演習科目・実習科目を中心に、思考力・判断力を養う。

全ての学修課程において、学生が主体的に学ぶ姿勢を養うことを基本とします。そのために、アクティブラーニングなどの能動的学修方法を充実させ、プロセス評価および正課外学習で得た汎用的能力を含む総合的な視点に立つ学修成果の評価を行います。また、GPAを活用して、学修成果を振り返りながら、学生指導を行います。

○教育課程（カリキュラム）は、共通科目と専門科目にわけて編成されています。

そしてそれぞれに修得しなければならない最低単位数が定められています。

また、各授業科目の区分には必修科目と選択科目があり、体系的に修得するように各年次に配当されています。

### 必修科目

各学科の教育課程のうち、必ず単位を修得しなければならない科目

### 選択科目

各学科の教育課程のうち、自由に選択して単位を修得することができる科目

○上記のほか学科によっては、各種免許・資格に関する授業科目が開設されています。いずれもその免許・資格を取得する上で必要な科目です。

全学共通科目

授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数		配 当 年 次		開 講 時 期		備 考		
		必 修	選 択	生 活 学 科	保 育 学 科 (第一部)	保 育 学 科 (第三部)	前 期		後 期	
建 学 の こ こ ろ	講 義	1		1	1	○		越原学舎研修		
外 国 語 科 目 群	英 語 1	演 習		1	2	○		保育学科必修、保育学科第三部は2年後期開講		
	英 語 2	演 習		1	3		○	保育学科必修、保育学科第三部は3年次前期開講		
	フ ラ ン ス 語 1	演 習		1	/	○				
	フ ラ ン ス 語 2	演 習		1	/		○			
	中 国 語 1	演 習		1	/	○				
	中 国 語 2	演 習		1	/		○			
科 目 群 健 康	健 康 の 科 学	講 義	2		1・2	1	前 期 有 り 後 期 で 開 講	保育学科必修		
	ス ポ ー ツ	実 技		1	1・2	1				
教 養 教 育 科 目 群	女 性 学	講 義		2	1・2	3				
	心 の は た ら き	講 義		2	1・2	3				(生活学科医療秘書実務士必修)
	文 学 の 味 わ い	講 義		2	1・2	3				
	美 と 芸 術	講 義		2	1・2	3				
	日 本 国 憲 法	講 義		2	1・2	3				(保育学科幼稚園免許必修)
	歴 史 の 視 点	講 義		2	1・2	3				
	く ら し の 経 済	講 義		2	1・2	3				
	生 活 と 福 祉	講 義		2	1・2	3				(生活学科医療秘書実務士必修)・保育学科必修
	生 活 と 環 境	講 義		2	1・2	3				
	文 章 表 現 法	演 習	1		1	1				(生活学科秘書士必修)
	生 活 マ ナ ー 演 習	演 習	1		1	2				(生活学科秘書士必修)
	キ ャ リ ア 入 門	講 義		2	1・2	3				
基 礎 情 報 処 理 演 習 1	演 習	1		1	1	(生活学科情報処理士・上級情報処理士・秘書士必修)				
基 礎 情 報 処 理 演 習 2	演 習	1		1	1	(生活学科情報処理士・上級情報処理士・秘書士必修)				

- (注1.) 外国語科目は、同じ外国語科目「1」と「2」を履修してください。  
 (注2.) 医療秘書実務士資格を取得するためには、「心のはたらき」「生活と福祉」を修得してください。  
 (注3.) 幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、「日本国憲法」を修得してください。  
 (注4.) 開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合があります。  
 (注5.) 保育学科第三部の教養教育科目群の選択科目は、前期開講の科目を履修してください。



## 1. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

生活学全般に関する諸領域について、それぞれの専門技術を身に付け、創造性豊かで魅力ある人間として、社会で活躍できる人材の育成を実現するため、現代社会や家庭生活に関わる生活学全般に関する「学科基礎・総合科目群」と各分野での専門性を活かした「コース基礎ユニット選択科目群」「コース専修科目群」により授業を段階的に構成しています。

1. ファッション分野・食分野・情報分野において自らの審美眼や思考を構築し、人間関係・社会情勢・自然環境における多様な課題を発見して、自分と異なる感性や外国文化の諸相を享受できるようになるために、講義科目を中心に、幅広い知識を学ぶ。
2. 自己の創造力を育み、豊かな感性で快適なライフスタイルを送る専門能力を培うため、ファッション分野・食分野・情報分野の中から主体的に選択した専門分野の技術を演習科目・実習科目を中心に学ぶ。また、地域貢献の各演習科目などを通して地域社会に向けて活躍できるよう、自己の表現力および行動力を磨く。
3. ファッション分野・食分野・情報分野に関する多様な課題について分析・解決でき、他者と自己および多様な外国文化が融合できるようになるために、演習科目・実習科目および卒業研究を中心に、思考力・判断力を養う。

全ての学修課程において、学生が主体的に学ぶ姿勢を養うことを基本とします。そのために、アクティブラーニングなどの能動的学修方法を充実させ、プロセス評価および正課外学習で得た汎用的能力を含む総合的な視点に立つ学修成果の評価を行います。また、GPAを活用して、学修成果を振り返りながら、学生指導を行います。

## 2. 授業科目について

生活学科は人間生活の基本的な知識を修得すると同時に、広い視野から生活学を探究し、国際社会に生きる日本人としての教養を身につけ、真に心豊かに生きる基本を学びます。そして、それぞれのコースにおいて培われた知識と技能に立脚した学生は、ハイ・クオリティー・ライフを見据えた見識と鋭い判断力を養うことが出来ます。

また学科の特色として、「海外総合演習」が設置されており、ヨーロッパ各都市の専門機関・研究所・デザイン工房・学校等において、衣・食・住・情報を網羅した内容での現地専門家による講義・実習・鑑賞を体験し、学生個々の将来への指針を持たせます。

他に「卒業研究」が設置されており、「卒業研究」では各自、将来への目的に適合したテーマを選択し、ゼミナール形式によって学問と研究を深めます。

## 3. コース概要

### 【情報ビジネスコース】

ITスキルをはじめ、ビジネスの即戦力としての力を高めます。

ビジネスの世界では、情報技術(IT)の知識と実践的な技術を習得する必要があります。そのために最新のIT活用能力を身につける徹底した「実践的情報教育」とIT機器を人と人とのコミュニケーションに活用する能力を養い、ビジネスの即戦力として活躍できる専門能力を身につけた人材の育成を目的とします。

### 【ファッションデザインコース】

生活の中のデザインを学び、アパレルデザインの技術と知識を養います。

生活に密着したデザインの理論・演習・実習を基盤とし、時代によって表情を変えるアパレルデザインを中心に、生活に生かせる幅広いデザインを学びます。審美眼や創造力を育み、豊かな感性で快適なライフスタイルをクリエイトする専門能力を培い、「モノづくりのこころ」を持つ人材の育成を目的とします。

### 【フードマネジメントコース】

食に関する分野を幅広く学び、専門知識を身につけます。

多様化する現代生活に最適な「食」を科学と文化から追求し、食品生産から調理の過程、医療の分野で生かせる栄養や健康などの知識、さらに接客サービスに関するホスピタリティ精神や技術などの能力を身につけ、人の健康と関わり深い「食」の専門能力を持った人材の育成を目的とします。

4. 教育課程について

生活学科 専門科目

授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	週 時 間 数				免 許 ・ 資 格								備 考				
			1 年		2 年		情 報 処 理 士	上 級 情 報 処 理 士	秘 書 士	ビ ジ ネ ス 実 務 士	上 級 ビ ジ ネ ス 実 務 士	プ ロ ン ツ ラ イ セ ン ス	ド レ ス 式 洋 裁 教 員 認 定	レ ス ト ラ ン サ ー ビ ス 技 能 士		フ ィ ッ ド コ ー デ ィ ン タ ー	医 療 秘 書 実 務 士		
			前 期	後 期	前 期	後 期													
学 科 基 礎 ・ 総 合 科 目 群	学 科 基 礎 力 養 成 (1年履修)	生 活 学	講 義	2	2			○	○	○									
		く ら し と イ ン タ ー ネ ッ ト	講 義	2	2			○	○										
		色 彩 学	講 義	2		2		○	○				○						
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論	講 義	2		2		○	○	○	○								
		マ ル チ メ デ ィ ア テ ク ノ ロ ジ	講 義	2	2			○	○										
		く ら し と 医 薬	講 義		2	2													○
		身 体 の し く み と 働 き	講 義	2	2														○
		情 報 処 理 総 論	講 義	2	2			○	○		○	○							
		情 報 科 学 概 論	講 義	2	2				○										
		販 売 ビ ジ ネ ス 理 論	講 義	2			2												
デ ザ イン 理 論	講 義	2	2								○								
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講 義		2		2						○								
キ ャ リ ア デ ザ イン 1	講 義	2	2			○	○	○	○	○									
キ ャ リ ア デ ザ イン 2	講 義	2		2		○	○	○	○	○									
学 士 力 養 成	海 外 総 合 演 習	演 習	2	4															
	地 域 貢 献 入 門 演 習	演 習	1	2			○	○	○	○	○								
	地 域 貢 献 基 礎 演 習	演 習	1	2			○	○	○	○	○								
	地 域 貢 献 実 践 演 習	演 習	1		2														
	地 域 貢 献 応 用 演 習	演 習	1			2													
	卒 業 研 究	演 習	2		2	2													
	秘 書 総 論	講 義	2		2				○	○	○								
	基 礎 秘 書 ビ ジ ネ ス 実 務 演 習	演 習	1		2				○	○	○								
	実 践 秘 書 ビ ジ ネ ス 実 務 演 習	演 習	1			2			○	○	○								
	健 康 ・ 医 療 力 養 成	介 護 概 論	講 義	2		2													○
医 療 事 務 総 論	講 義	2	2															○	
医 療 事 務 演 習	演 習	1	2															○	
医 療 秘 書 実 務	講 義	2	2															○	
公 衆 衛 生 学 (衛 生 法 規 を 含 む)	講 義	2		2								○						○	
医 療 秘 書 実 務 実 習 指 導	演 習	1		2														○	
医 療 秘 書 実 務 実 習	実 習	1			○													○	
コ ー ス 基 礎 ユ ニ ッ ト 選 択 科 目 群 (1・2年履修)	I T 系	イ ン タ ー ネ ッ ト テ ク ノ ロ ジ	講 義	2	2	2													
		情 報 と 社 会	講 義	2	2	2						○							
		基 礎 I T 総 合 演 習	演 習	1	2	2													
		基 礎 ホ ー ム ペ ー ジ 作 成	演 習	1	2	2													
		実 践 ワ ー ド 演 習	演 習	1	2	2													
	実 践 エ ク セ ル 演 習	演 習	1	2	2														
	ア パ レ ル 系	ア パ レ ル 構 成 学	講 義	2	2	2						○	○						
		フ ァ ッ シ ョ ン ク リ エ イ ト 基 礎 実 習	実 習	2	6	6							○	○					
		テ キ ス タ イ ル 素 材 研 究	演 習	1	2	2							○	○					
		フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン	演 習	1	2	2							○	○					
ベ ー シ ッ ク ド ロ ー イ ン グ		演 習	1	2	2							○	○						
パ タ ー ン メ ー キ ン グ 基 礎	演 習	1	2	2							○	○							
調 理 ・ 食 品 系	調 理 学	講 義	2	2	2													○	
	基 礎 調 理 実 習	実 習	1	3	3													○	
	西 洋 ・ 中 国 料 理	実 習	1	3	3													○	
	食 品 衛 生 学	講 義	2	2	2													○	
食 品 衛 生 学	講 義	2	2	2														○	

(注) 所属コース以外の基礎ユニット選択科目群の授業科目は、時間割の関係で履修できない場合があります。

生活学科

授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数		週 時 間 数		免 許 ・ 資 格								備 考				
		必 修	選 択	1 年		2 年		情 報 処 理 士	上 級 情 報 処 理 士	秘 書 士	ビ ジ ネ ス 実 務 士	上 級 ビ ジ ネ ス 実 務 士	プ ロ ン ツ ラ イ セ ン ス		ド レ ス 式 洋 裁 教 員 認 定	レ ス ト ラ ン サ ー ビ ス 技 能 士	フ ィ ッ ド コ ー デ ィ ネ ー タ ー	医 療 秘 書 実 務 士
				前 期	後 期	前 期	後 期											
情 報 ビ ジ ネ ス コ ー ス	情 報 ビ ジ ネ ス 数 学	講 義	2			2					○	○						
	オ フ ィ ス マ ネ ジ メ ン ト	演 習	1		2						○	○						
	文 書 デ ザ イ ン	演 習	1		2							○	○					
	情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	講 義	2			2						○	○					
	情 報 技 術 と 企 業	講 義	2			2						○	○					
	エ ク セ ル 企 業 実 践 演 習	演 習	1			2		△					○	○				
	基 礎 コ ン ピ ュ ー タ ・ グ ラ フ ィ ッ ク ス 演 習	演 習	1			2						○	○					
	実 践 コ ン ピ ュ ー タ ・ グ ラ フ ィ ッ ク ス 演 習	演 習	1			2		△				○	○					
	基 礎 プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	演 習	1			2						△	○					
	実 践 プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	演 習	1			2		△					○	○				
	情 報 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習	演 習	1			2						○	○					
	実 践 ホ ー ム ペ ー ジ 作 成	演 習	1		2							△	○					
	ウ ェ ブ ・ コ ン テ ン ツ 演 習	演 習	1		2							○	○					
	実 践 I T 総 合 演 習	演 習	1		2							△	○					
ビ ジ ネ ス 実 務 総 論	講 義	2			2						○	○						
ビ ジ ネ ス 実 務 演 習	演 習	1			2		△				○	○						
マ ル チ メ デ ィ ア 制 作 演 習	演 習	1			2						○	○						
パ ワ ー ポ イ ン ト 演 習	演 習	1			2						○	○						
ビ ジ ネ ス プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 演 習	演 習	1			2		△				○	○						
フ ェ ッ シ ョ ン デ ザ イ ン コ ー ス	テ キ ス タ イ ル 素 材 論	講 義	2	2								○	○					
	テ キ ス タ イ ル 素 材 加 工	演 習	1			2						○	○					
	染 色 デ ザ イ ン 実 習	実 習	1			3						○	○					
	パ タ ー ン メ ー キ ン グ 応 用	演 習	1			2						○	○					
	モ ー ド 論	講 義	2			2						○	○					
	フ ェ ッ シ ョ ン ク リ エ イ ト 実 習	実 習	2		6							○	○					
	フ ェ ッ シ ョ ン ク リ エ イ ト 応 用 実 習	実 習	2			6						○	○					
	ド レ ス メ ー キ ン グ 実 習	実 習	2			6						○	○					
	ハ ン ド ク ラ フ ト	演 習	1			2						○	○					
	フ ェ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス	講 義	2			2						○	○					
	ア パ レ ル 生 産 実 習	実 習	1			3						○	○					
	ア パ レ ル 企 画 演 習	演 習	1			2						○	○					
	フ ェ ッ シ ョ ン コ ー デ ィ ネ ー ト 演 習	演 習	1			2						○	○					
	コ ン ピ ュ ー タ デ ザ イ ン テ ク ニ ッ ク	演 習	1			2		△				○	○					
ア パ レ ル C A D	演 習	1			2		△				○	○						
工 芸 演 習	演 習	2			4							○						
フ ェ ッ シ ョ ン ド ロ ー イ ン グ	演 習	1		2								○						
コ ン ポ ジ シ ョ ン	演 習	1		2														
フ ィ ッ ド マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	日 本 料 理 ( 行 事 食 を 含 む )	実 習	1			3										○		
	製 菓 ・ 製 パ ン 実 習	実 習	1			3												
	食 品 材 料 学 演 習	演 習	1		2								○					
	食 品 の 官 能 評 価 及 び 鑑 別 1	演 習	1			2							○					
	食 品 の 官 能 評 価 及 び 鑑 別 2	演 習	1			2							○					
	食 品 学 実 習 ( 加 工 を 含 む )	実 習	1			3												
	世 界 の 食 文 化	演 習	1			2							○					
	フ ィ ッ ド コ ー デ ィ ネ ー ト 論	講 義	2			2		△					○					
	フ ィ ッ ド マ ネ ジ メ ン ト	講 義	2			2		△					○					
	テ ー ブ ル コ ー デ ィ ネ ー ト	演 習	1			2							○					
	食 の 商 品 開 発	演 習	1			2							○					
	食 料 飲 料 接 遇 サ ー ビ ス 演 習 1	演 習	1		2								○					
	食 料 飲 料 接 遇 サ ー ビ ス 演 習 2	演 習	1			2							○					
	食 料 飲 料 サ ー ビ ス 実 習	実 習	1		○								○					
テ ー ブ ル マ ナ ー	演 習	1			2							○						
栄 養 と 健 康	講 義	2		2												○		
ラ イ フ ス テ ー ジ と 食 事	実 習	1			3											○		
健 康 管 理 学	講 義	2			2													

(注1) 免許・資格欄の○印は各資格の必修科目です。  
(注2) 上級ビジネス実務士は○印の科目の他に、△印の科目から2単位以上、上級情報処理士は○印の科目の他に、△印の科目から2単位以上(所属コースの科目に限る。)取得する必要があります。  
(注3) 開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合があります。



履修11モデル

履修モデル 番号	キーワード	取得できる 資格/免許	コース基礎ユニット 選択科目群	コース専修科目群	専門科目
1	IT・ビジネス	上級情報処理士 情報処理士 秘書士 ビジネス実務士 上級ビジネス実務士		情報ネットワーク、 + 実践IT総合演習などの情報 ビジネス関連科目	秘書総論、 + 基礎/実践秘書ビジ ネス実務演習など
2	情報 +アパレル	上級情報処理士 情報処理士 秘書士 フォーマルスベシャリスト検定準2級 (プロンズライセンス)	<IT系> インターネットテクノロジー、 情報と社会、 + 基礎IT総合演習、 基礎ホームページ作成、	基礎/実践コンピュータ・ + グラフィックス演習、 実践ホームページ作成など の情報ビジネス関連科目	アパレル構成学、 + テキスタイル素材 研究など
3	情報+食	上級情報処理士 情報処理士	基礎ホームページ作成、 実践ワード演習、 実践エクセル演習	ビジネス実務総論、ビジネス + プレゼンテーション演習など の情報ビジネス関連科目	製菓・製パン実習、 + 世界の食文化など
4	情報+健康	上級情報処理士 情報処理士 医療秘書実務士		栄養と健康などの食生活関連科目 + ビジネス実務総論、ビジネス実務 演習などの情報ビジネス関連科目	くらしと医療、 + 医療事務総論、医 療秘書実務など
5	ファッション スペシャリスト	ドレメ式洋裁学校教員認定 フォーマルスベシャリスト検定準2級 (プロンズライセンス) 上級情報処理士 情報処理士 秘書士	<アパレル系> アパレル構成学、 ファッションクリエイト	ファッションクリエイト実習、 + ドレスメーカー実習などの ファッションデザイン関連科目	デザイン理論、 + ユニバーサルデザ インなど
6	ファッション ビジネス	ドレメ式洋裁学校教員認定 フォーマルスベシャリスト検定準2級 (プロンズライセンス) 上級情報処理士 情報処理士 秘書士	基礎実習、 テキスタイル素材研究、 ファッションデザイン、 ベーシックドローイング、 パターンメーカー基	ファッションビジネス、アパ + ル企画演習などのファッショ ンデザイン関連科目	販売ビジネス理論、 + ビジネスプレゼン テーション演習など
7	ファッション +ITスキル	フォーマルスベシャリスト検定準2級 (プロンズライセンス) 上級情報処理士 情報処理士 秘書士		コンピュータデザインテクニ + ック、アパレルCADなどのフ ァッションデザイン関連科目	基礎/実践 + コンピュータ・グラ フィックス演習、 基礎/実践 ホームページ作成など
8	食生活 ベーシック	フードコーディネーター3級		フードコーディネート論、日本 + 料理(行事食を含む)、世界 の食文化などの食生活関連 科目	食品学実習、 + ライフステージと食 事など
9	食生活 +ITスキル	フードコーディネーター3級 上級情報処理士 情報処理士	<調理・食品系> 調理学、 + 基礎調理実習、 西洋・中国料理、 食品学、 食品衛生学	食品の官能評価、 + 食の商品開発などの食生活 関連科目	情報処理総論、 + ビジネス実務演習 など
10	食生活 +健康	フードコーディネーター3級 医療秘書実務士 上級情報処理士 情報処理士		栄養と健康、 + ライフステージと食事、 健康管理学などの 食生活関連科目	身体のおくみと働き、 + 医療事務総論など
11	食生活 スペシャリスト	レストランサービス技能士3級 フードコーディネーター3級 医療秘書実務士 上級情報処理士 情報処理士 秘書士		料飲接客サービス演習、 + フードマネジメント、 テーブルマナーなどの 食生活関連科目	料飲サービス実習 + 製菓・製パン実習、 基礎秘書ビジネス 実務演習など

『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』

カリキュラムマップとカリキュラムツリーは、身につけてほしい知識・能力と授業科目との対応関係を体系的にわかりやすく示したものです。

カリキュラムマップ

ディプロマポリシー（学位授与の方針）と授業科目の関係を示したものです。

卒業時に学科のディプロマポリシーの達成目標に到達するため、授業科目と学修成果の関係を説明しています。授業科目によって育成する能力が異なるため、伸ばしたい能力など必要に応じて科目選択の参考にしてください。

カリキュラムツリー

到達目標を達成するために、授業科目間の系統性や関連性、配当年次を示しています。

履修の際には、左側にある科目から履修することが前提となりますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。

# 〈生活学科〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標（学修成果目標）

DP：ディプロマポリシー

①創造力、自己表現	①DP1 自ら構築した審美眼および思考に基づき、創造力豊かにファッション分野・食分野・情報分野において自己表現ができる。
②専門的知識・技能、主体性、問題発見・解決力	②DP2 主体性を持って、ファッション分野・食分野・情報分野についての専門的知識・技能を修得し、かつ生活学を理論と実践の両面から探求した立場から、人間・社会・自然における多様な課題を発見し、その課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
③異文化理解、コミュニケーション能力	③DP3 ファッション分野・食分野・情報分野において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

## 科目別目標

特に重点的に育成する能力=◎、重点的に育成する能力=○

学年	期	科目名	①	②	③
1	前期	建学のこころ	○	○	◎
		情報科学概論		◎	
		デザイン理論	◎	○	
		医療事務総論	◎	○	○
		くらしとインターネット		◎	○
		身体のしくみと働き	◎	○	○
		キャリアデザイン1		◎	○
		英語1	○		◎
	後期	フランス語1	○		◎
		中国語1	○		◎
		生活学	◎	◎	○
		マルチメディアテクノロジー	○	◎	○
		地域貢献入門演習	○	○	◎
		情報処理総論		◎	
		テキスタイル素材論	◎	○	
		料飲接客サービス演習1	◎	◎	◎
2	前期	料飲サービス実習	◎	◎	◎
		色彩学	◎	○	
		ファッションドローイング	◎	◎	
		マーケティング論	◎	○	○
		海外総合演習	◎	◎	◎
		医療秘書実務	◎	○	○
		医療事務演習	◎	◎	○
		実践ホームページ作成	◎	○	
	後期	くらしと医療	◎	○	○
		キャリアデザイン2		○	◎
		コンポジション	◎	○	
		オフィスマネジメント	○		◎
		文書デザイン演習	○	◎	
		英語2	○		◎
		フランス語2	○		◎
		中国語2	○		◎
前期あるいは後期	地域貢献基礎演習	○	○	◎	
	ファッションクリエイティブ実習	○	◎		
	食品材料学演習	○	◎	○	
	栄養と健康	◎	○	○	
	文章表現法	◎		◎	
	生活マナー演習	◎		◎	
	基礎情報処理演習1	○	◎	○	
	基礎情報処理演習2	○	◎	○	
キャリア入門		◎	○		

学年	期	科目名	①	②	③
1・2	前期	食品学	◎	○	○
		調理学	◎	○	○
		基礎ホームページ作成	◎	○	
		アパレル構成学	◎	○	
		ファッションクリエイティブ基礎実習	○	◎	
		パターンメイキング基礎	○	◎	
		基礎調理実習	◎	◎	○
		ベーシックドローイング	◎	◎	
	後期	食品衛生学	◎	○	○
		実践ワード演習	○	◎	
		情報と社会		◎	○
		実践エクセル演習	○	◎	
		ファッションデザイン	◎	◎	
		基礎IT総合演習		◎	
		テキスタイル素材研究	○	◎	
		インターネットテクノロジー		◎	○
前期あるいは後期	西洋・中国料理	◎	◎	○	
	くらしの経済	○	○	◎	
	健康の科学	○	◎	◎	
	心のはたらき	○	◎	◎	
	女性学	○	○	◎	
	スポーツ	○	○	◎	
	生活と福祉	○	◎	◎	
	日本国憲法	○	◎	◎	
2	生活と環境	○	○	◎	
	美と芸術	○	○	◎	
	文学の味わい	○	○	◎	
	歴史の視点	○	○	◎	
	卒業研究		◎	◎	
	工芸		◎	◎	
	アパレル企画演習	◎	◎	◎	
	ライフステージと食事	◎	◎	○	

学年	期	科目名	①	②	③
前期	前期	情報ネットワーク	◎	○	
		アパレル生産実習	◎	◎	○
		公衆衛生学（衛生法規を含む）	◎	◎	○
		世界の食文化	◎	◎	○
		フードコーディネーター論	◎	○	○
		基礎プログラミング演習	○	◎	
		ビジネス実務総論		◎	◎
		ハンドクラフト		◎	◎
	後期	基礎コンピュータ・グラフィックス演習	○	◎	
		情報ビジネスコミュニケーション演習		○	◎
		ウェブ・コンテンツ演習		○	◎
		食品の官能評価及び鑑別1	◎	◎	○
		テーブルコーディネーター	◎	◎	○
		医療秘書実務実習指導	◎	◎	◎
		実践IT総合演習		◎	
		地域貢献実践演習	○	◎	◎
2	染色デザイン実習	◎	◎		
	パターンメイキング応用	◎	◎		
	ドレスメイキング実習	◎	◎		
	ファッションビジネス	◎	○	○	
	コンピュータデザインテクニック	◎	◎		
	パワーポイント演習	◎	○		
	基礎秘書ビジネス実務演習	◎	◎	○	
	ユニバーサルデザイン	◎	◎	○	
通年	料飲接客サービス演習2	◎	◎	◎	
	テーブルマナー	◎	◎	◎	
	日本料理（行事食を含む）	◎	◎	◎	
	医療秘書実務実習	◎	◎	◎	
	秘書総論	○	◎	○	
	卒業研究		◎	◎	
	工芸		◎	◎	
	アパレル企画演習	◎	◎	◎	
後期	ライフステージと食事	◎	◎	○	
	アパレルCAD	○	◎		
	ビジネス実務演習	○	◎		
	エクセル企業実践演習	◎	◎		
	ビジネスプレゼンテーション演習	◎	◎		
	マルチメディア制作演習		○	◎	
	実践コンピュータ・グラフィックス演習	○	◎		
	情報技術と企業	○	◎	○	
	食品の官能評価及び鑑別2	◎	◎	○	
	実践プログラミング演習	◎	◎		
	地域貢献応用演習	○	◎	◎	
	テキスタイル素材加工	◎	◎		
	ファッションクリエイティブ応用実習	◎	◎		
	ファッションコーディネーター演習	◎	◎	○	
	食の商品開発	◎	◎	○	
	食品学実習（加工を含む）	○	◎	◎	
フードマネジメント	◎	○	○		
情報ビジネス数学	○	◎			
介護概論	◎	○	○		
実践秘書ビジネス実務演習	◎	◎	○		
販売ビジネス理論		○	◎		
モード論	◎	○			
健康管理学	◎	○	○		
製菓・製パン実習	◎	◎	○		

〈生活学科〉カリキュラムツリー

- (1) \*印の科目はいずれかの学年で履修できる。 (2) 科目名が太字のものは必修科目を表す。  
 (3) 科目名に記載の①②③は①DP1, ②DP2, ③DP3を示す。  
 (4) 科目名に記載されている<sup>a</sup>~<sup>j</sup>は資格関連科目を示す。 a)情報処理士, b)上級情報処理士, c)秘書士, d)ブロンズライセンス, e)ドレメ式洋裁教員認定, f)レストランサービス技能士(受験資格), g)フードコーディネーター, h)医療秘書実務士, i)ビジネス実務士, j)上級ビジネス実務士

ツリーの見方

科目分類	1年		2年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	
全学共通科目	③建学のころ ③女性学* ③文学の味わい* ②③日本国憲法* ③くらしの経済* ③生活と環境* ①③文章表現法 <sup>c</sup> ②基礎情報処理演習1 abc ②基礎情報処理演習2 abc ②キャリア入門*		②③心のはたらき <sup>h</sup> * ③美と芸術* ③歴史の視点* ②③生活と福祉 <sup>h</sup> * ①③生活マナー演習		*幅広い視野に立った豊かな人間性を身に付ける。  *専門科目の学修の基礎作りとなる知識や技能を身に付ける。
	③英語1 → ③英語2 ③フランス語1 → ③フランス語2 ③中国語1 → ③中国語2		③女性学* ③文学の味わい* ②③日本国憲法* ③くらしの経済* ③生活と環境* ②キャリア入門*		
	②③健康の科学* ③スポーツ*		②③健康の科学* ③スポーツ*		
学科基礎・総合科目群	①②生活学 abc ②くらしとインターネット ab ③マルチメディアテクノロジ ab ①身体のおくみと働き <sup>h</sup> ②情報処理総論 <sup>abj</sup> ②情報科学概論 <sup>b</sup> ①デザイン理論 <sup>e</sup> ②キャリアデザイン1 abcij → ③キャリアデザイン2 abcij ③地域貢献入門演習 abcij → ③地域貢献基礎演習 abcij → ①②③海外総合演習		①色彩学 abc ①マーケティング論 abcij ①くらしと医療 <sup>h</sup>  ③ユニバーサルデザイン <sup>e</sup> ③販売ビジネス理論		*現代社会や家庭生活に関わる生活学の知識を身に付ける。  *生活学の知識を基盤に、地域社会の問題に自ら解を思いだしていく思考力・判断力・表現力を身に付ける。  *地域社会の問題を解決するために、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付ける。  *秘書関連の知識・技能を身に付ける。  *健康・医療関連の知識・技能を身に付ける。
	①医療事務総論 <sup>h</sup> → ①②医療事務演習 <sup>h</sup> → ①③医療秘書実務 <sup>h</sup> ①②③海外総合演習 → ②基礎秘書ビジネス実務演習 <sup>cij</sup> → ②実践秘書ビジネス実務演習 <sup>cj</sup> ②秘書総論 <sup>cij</sup>		②③卒業研究(通年) ②基礎秘書ビジネス実務演習 <sup>cij</sup> → ②実践秘書ビジネス実務演習 <sup>cj</sup> ②秘書総論 <sup>cij</sup>		
	①③医療秘書実務 <sup>h</sup> → ①②③医療秘書実務指導 <sup>h</sup> ①②③医療秘書実務 <sup>h</sup> → ①②③医療秘書実務実習(前期集中) <sup>h</sup>		①②③卒業研究(通年) ②基礎秘書ビジネス実務演習 <sup>cij</sup> → ②実践秘書ビジネス実務演習 <sup>cj</sup> ②秘書総論 <sup>cij</sup>		

コース基礎ユニット選択科目群 (1・2年履修)	IT系	①基礎ホームページ作成 ②インターネットテクノロジー ②情報と社会 ②基礎IT総合演習 ②実践ワード演習 ②実践エクセル演習	①基礎ホームページ作成 ②インターネットテクノロジー ②情報と社会 ②基礎IT総合演習 ②実践ワード演習 ②実践エクセル演習	②インターネットテクノロジー ②情報と社会 ②基礎IT総合演習 ②実践ワード演習 ②実践エクセル演習	*情報分野・ファッション分野・食生活分野の基礎的な知識・技能を身に付ける。  *情報分野・ファッション分野・食生活分野の基礎的な知識・技能を基盤に、生活における問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を身に付ける。
	アパレル系	①アパレル構成学 <sup>de</sup> ②ファッションクリエイティブ基礎実習 <sup>e</sup> ②ベーシックドローイング <sup>e</sup> ②パターンメイキング基礎 <sup>e</sup>	①アパレル構成学 <sup>de</sup> ②ファッションクリエイティブ基礎実習 <sup>e</sup> ②ベーシックドローイング <sup>e</sup> ②パターンメイキング基礎 <sup>e</sup>	②テキスタイル素材研究 <sup>e</sup> ①②ファッションデザイン <sup>e</sup>	②テキスタイル素材研究 <sup>e</sup> ①②ファッションデザイン <sup>e</sup>
コース専修科目群 (1年後期・2年履修)	調理・食品系	①調理学 <sup>g</sup> ①②基礎調理実習 <sup>g</sup> ①食品学 <sup>h</sup>	①調理学 <sup>g</sup> ①②基礎調理実習 <sup>g</sup> ①食品学 <sup>h</sup>	①②西洋・中国料理 <sup>h</sup> ①食品衛生学 <sup>f</sup>	①②西洋・中国料理 <sup>h</sup> ①食品衛生学 <sup>f</sup>
	情報ビジネスコース	②オフィスマネジメント <sup>ij</sup> ②文書デザイン演習 <sup>j</sup> ①実践ホームページ作成 <sup>j</sup>	②情報ネットワーク <sup>j</sup> ②基礎プログラミング演習 <sup>j</sup> → ②基礎コンピュータグラフィックス演習 <sup>j</sup> → ③情報ビジネスコミュニケーション演習 <sup>j</sup> ③ウェブ・コンテンツ演習 <sup>j</sup> ②実践IT総合演習 <sup>j</sup> ①パワーポイント演習 <sup>j</sup> ③ビジネス実務総論 <sup>j</sup>	②情報技術と企業 <sup>j</sup> ②実践プログラミング演習 <sup>b</sup> ②実践コンピュータグラフィックス演習 <sup>bj</sup> ③マルチメディア制作演習 <sup>j</sup> ②情報ビジネス数学 <sup>ij</sup> ①ビジネスプレゼンテーション演習 <sup>bj</sup> ②ビジネス実務演習 <sup>bj</sup> ②エクセル企業実践演習 <sup>b</sup>	*情報分野・ファッション分野・食生活分野の専門的な知識・技能を基盤に、生活における問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を身に付ける。
	ファッションデザインコース	①テキスタイル素材論 <sup>de</sup> ②ファッションクリエイティブ実習 <sup>e</sup> ①②ファッションドローイング <sup>e</sup> ①コンポジション	②ファッションデザイン実習 <sup>e</sup> ①②パターンメイキング応用 <sup>e</sup> ①②ドレッシングメイキング実習 <sup>e</sup> ①②ハンドクラフト <sup>e</sup> ①ファッションビジネス <sup>e</sup> ①②アパレル生産実習 <sup>e</sup> ①②コンピュータデザインテクニック <sup>be</sup>	①②テキスタイル素材加工 <sup>e</sup> ①モード論 <sup>e</sup> ①②ファッションクリエイティブ応用実習 <sup>e</sup> ①②アパレル企画演習 <sup>e</sup> ①②ファッションコーディネート演習 <sup>e</sup> ②アパレルCAD <sup>be</sup> ②③工芸	*生活の問題を解決するために、主体性をもって学ぶ態度を身に付ける。
フードマネジメントコース	①②③料飲接遇サービス実習(前期集中) <sup>f</sup> ①②③料飲サービス実習(前期集中) <sup>f</sup> ①栄養と健康 <sup>g</sup>	②食品材料科学演習 <sup>f</sup> ①②③料飲サービス実習(前期集中) <sup>f</sup> ①栄養と健康 <sup>g</sup>	①②食品の官能評価及び鑑別 <sup>1fg</sup> ①②日本料理(行事食を含む) <sup>g</sup> ①②世界の食文化 <sup>hg</sup> ①フードコーディネイト論 <sup>big</sup> ①②テーブルコーディネート <sup>g</sup> ①②③料飲接遇サービス実習 <sup>2f</sup> ①②③テーブルマナー <sup>f</sup>	①②食品の官能評価及び鑑別 <sup>2</sup> ①フードマネジメント <sup>bg</sup> ①②食の商品開発 <sup>g</sup> ②③食品学実習(加工を含む) ①②ライフステージと食事 <sup>g</sup> ①②製菓・製パン実習 ①健康管理学	

DP① 創造力、自己表現

DP② 専門的知識・技能、主体性、問題発見・解決力

DP③ 異文化理解、コミュニケーション能力

DPの科目別目標はカリキュラムマップを参照

### 1. カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

「福祉マインドを持った人間性豊かな保育士および幼稚園教諭」を育成するために、5系列(福祉の理論、こころとからだの発達・健康、保育と教育の理論、保育と教育の内容・技術、保育と教育の実践)に分類した「学科専門科目」でカリキュラムを構成しています。さらに、保育者としての総合的な知識と資質を養成するために、少人数教育型で進める授業を設けています。このように、基礎から実践・応用に発展するような教育課程を組んでいます。

1. 自らの保育・教育観を構築し、子どもたちを取り巻く人間・社会・自然環境における多様な課題を発見して、他者および異文化の多様な思いや言動を享受できるようになるために、保育内容の5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)をもとに、講義科目を中心として、保育・教育に関する幅の広い知識を学ぶ。
2. コミュニケーション能力を発揮し、創造力豊かに自己表現ができるようになるために、演習科目・実習科目を中心に、音楽・造形・身体・言語等の表現等の技術を学び、自己の表現力を磨くとともに、子どもの発達に基づいた援助・指導を実践できる力を養う。
3. 子どもに関わる様々な課題について、自らの考えで分析・解決でき、多くの子どもたちについて個々の考えを尊重しながら統括できるようになるために、演習科目・実習科目を中心に、思考力・判断力を伴った実践力を養う。

全ての学修課程において、学生が主体的に学ぶ姿勢を養うことを基本とします。そのために、アクティブラーニングなどの能動的学修方法を充実させ、プロセス評価および正課外学習で得た汎用的能力を含む総合的な視点に立つ学修成果の評価を行います。また、GPAを活用して、学修成果を振り返りながら、学生指導を行います。

### 2. 授業科目について

乳幼児保育から幼稚園教育までを担えるとともに、福祉の専門知識・技術を持ち“いのちの大切さ、それをまもるための優しさ”の心情に基づいて保育・幼児教育にあたることができるため、専門的知識・技能を学ぶ科目が段階的に設けられています。

また、学科の特色として、「保育者養成基礎講座」「保育者養成発展講座」「保育者養成実践講座」が段階的に設置されており、全体講義と少人数グループ学習形態で、総合的観点にて、将来保育者として活躍できる方向性を示し、その意識を持たせます。

他に「保育実習」「教育実習」が設置されており、この『履修要項』の27～32ページで詳しくふれています。このように保育学科のカリキュラムは「保育」「教育」「福祉」について深く学ぶことができるように構成されています。

### 3. 保育学科で取得できる資格・免許状

保育学科では、「保育士資格」「幼稚園教諭二種免許状」を卒業と同時に取得することができます。それぞれの資格・免許状を取得するためには、17～18ページの表で免許・資格欄に○印がついている科目を修得する必要があります。

これらの資格・免許状については、この『履修要項』の免許・資格の27～32ページで詳しくふれています。



4. 教育課程について

保育学科 第一部 専門科目

授 業 科 目	授 業 形 態	単位数		週時間数				免許・資格	
				1 年		2 年		保 育 士	幼 免 許
		必 修	選 択	前 期	後 期	前 期	後 期		
福祉の理論	社会福祉論	講義	2				2	○	
	子ども家庭支援論	講義	2					○	
	子ども家庭福祉論	講義	2		2			○	
	地域福祉論	講義		2		2		△	△
こころとからだの発達・健康	障がい児の心理学	講義		2				△	△
	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2			○	○
	子ども家庭支援の保健	講義	2		2			○	
	子どもの健康と安全	演習	1			2		○	
	子どもの食と栄養 1	演習	1				2	○	
	子どもの食と栄養 2	演習	1					○	
	子ども理解の理論と方法	演習	1			2		○	○
保育と教育の理論	教育相談(カウンセリングを含む)	講義		2				△	○
	保育の原理	講義	2		2			○	
	保育内容総論	演習	1		2			○	○
	社会的養護 1	講義	2		2			○	
	社会的養護 2	演習	1			2		○	
	教育の原理と制度	講義	2		2			○	○
	保育者・教育者論	講義	2		2			○	○
保育と教育の内容・技術	保育・教育課程論	講義	2			2		○	○
	教育の方法と技術	講義		2				○	○
	乳児保育 1	講義	2		2			○	
	乳児保育 2	演習	1			2		○	
	特別支援保育・教育の基礎	講義	2				2	○	○
	障がい児保育 1	演習	1				2	○	
	障がい児保育 2	演習	1					○	2
	子育て支援	演習	1				2	○	
	保育内容演習(健康)	演習	1				2	○	○
	保育内容演習(人間関係)	演習	1					○	2
	保育内容演習(環境)	演習	1		2			○	○
	保育内容演習(言葉)	演習	1			2		○	○
	保育内容演習(表現1)	演習	1			2		○	○
	保育内容演習(表現2)	演習	1					○	2
	子どもの健康	講義	1				1	○	○
	子どもの人間関係	講義	1				1	○	○
	子どもの環境	講義	1				1	○	○
	子どもの言葉	講義	1				1	○	○
	保育内容の理解と方法(音楽)	演習	1		2			○	△
	保育内容の理解と方法(造形)	演習	1		2			○	△
保育内容の理解と方法(身体)	演習	1			2		○	○	
保育内容の理解と方法(言語)	演習	1					○	2	
歌とピアノの技術	演習		1		2		△	△	
子どもの遊びと音楽	演習		1			2	△	△	
総合表現演習	演習		1				△	○	
保育・教職実践演習(幼稚園)	演習		2				○	○	
保育者養成基礎講座	演習	1		2			○		
保育者養成発展講座	演習	1			2		○		
保育者養成実践講座	演習	1				2	○		
保育と教育の実践	保育実習指導 1 A	演習		1		2		○	
	保育実習指導 1 B	演習		1			○	○	
	保育実習指導 2	演習		1			○	○	
	保育実習 1 A	実習	2		○			○	
	保育実習 1 B	実習	2				○	○	
	保育実習 2	実習	2				○	○	
	教育実習指導	講義		1		2			○
保育実習	実習		4				○	○	

保育学科

(注) 免許・資格欄の○印は「保育士」「幼稚園教諭二種免許状」それぞれの資格取得に必要な科目。△は選択科目。  
 (注) 「保育実習2」は、「保育実習1A」を履修していないと履修できません。また「保育実習1A」が「失格」または「不合格」になった場合は、「保育実習2」は履修できません。

保育学科 第三部 専門科目

授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数		週 時 間 数						免 許 ・ 資 格		
				1 年		2 年		3 年		保 育 士	幼 免 許	
		必 修	選 択	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
福祉の理論	社 会 福 祉	講義	2		2						○	
	子 ども 家 庭 支 援 論	講義	2							2	○	
	子 ども 家 庭 福 祉	講義	2			2					○	
	地 域 福 祉 論	講義		2					2		△	△
こころとからだの 発達・健康	障 がい 児 の 心 理 学	講義	2	2							○	○
	子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	講義	2				2				○	
	子 ども の 保 健	講義	2		2						○	
	子 ども の 健 康 と 安 全	演習	1			2					○	
	子 ども の 食 と 栄 養 1	演習	1							2	○	
	子 ども の 食 と 栄 養 2	演習	1							2	○	
	子 ども 理 解 の 理 論 と 方 法	演習	1				2				○	○
	教 育 相 談 (カウ ン セ リ ン グ を 含 む)	講義		2					2		△	○
保育と教育の理論	保 育 原 理	講義	2		2						○	
	保 育 内 容 総 論	演習	1		2						○	○
	社 会 的 養 護 1	講義	2			2					○	
	社 会 的 養 護 2	演習	1				2				○	
	教 育 の 原 理 と 制 度	講義	2			2					○	○
	保 育 者 ・ 教 育 者 論	講義	2		2						○	○
	保 育 ・ 教 育 課 程 論	講義	2						2		○	○
	教 育 の 方 法 と 技 術	講義		2						2		○
保育と教育の内容・技能	乳 児 保 育 1	講義	2			2					○	
	乳 児 保 育 2	演習	1				2				○	
	特 別 支 援 保 育 ・ 教 育 の 基 礎	講義	2				2				○	○
	障 がい 児 保 育 1	演習	1				2				○	
	障 がい 児 保 育 2	演習	1					2			○	
	子 育 て 支 援	演習	1						2		○	
	保 育 内 容 演 習 (健 康)	演習	1		2						○	○
	保 育 内 容 演 習 (人 間 関 係)	演習	1		2						○	○
	保 育 内 容 演 習 (環 境)	演習	1		2						○	○
	保 育 内 容 演 習 (言 葉)	演習	1		2						○	○
	保 育 内 容 演 習 (表 現 1)	演習	1				2				○	○
	保 育 内 容 演 習 (表 現 2)	演習	1						2		○	○
	子 ども の 健 康	講義	1						1		○	○
	子 ども の 人 間 関 係	講義	1						1		○	○
	子 ども の 環 境	講義	1							1	○	○
	子 ども の 言 葉	講義	1						1		○	○
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (音 楽)	演習	1		2						○	△
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (造 形)	演習	1			2					○	△
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (身 体)	演習	1				2				○	○
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (言 語)	演習	1				2				○	
	歌 と ピ ア ノ の 技 術	演習		1			2				△	△
	子 ども の 遊 び と 音 楽	演習		1					2		△	△
総 合 表 現 演 習	演習		1						2	△	○	
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	演習		2						4	○	○	
保 育 者 養 成 基 礎 講 座	演習	1		2						○		
保 育 者 養 成 発 展 講 座	演習	1				2				○		
保 育 者 養 成 実 践 講 座	演習	1						2		○		
保育と教育の実践	保 育 実 習 指 導 1 A	演習		1				2			○	
	保 育 実 習 指 導 1 B	演習		1						○	○	
	保 育 実 習 指 導 2	演習		1						○	○	
	保 育 実 習 1 A	実習		2					○		○	
	保 育 実 習 1 B	実習		2						○	○	
	保 育 実 習 2	実習		2						○	○	
	教 育 実 習 指 導	講義		1				2				○
教 育 実 習	実習		4							○	○	

(注) 免許・資格欄の○印は「保育士」「幼稚園教諭二種免許状」それぞれの資格取得に必要な科目。△は選択科目。

(注) 「保育実習2」は、「保育実習1 A」を履修していないと履修できません。また「保育実習1 A」が「失格」または「不合格」になった場合は、「保育実習2」は履修できません。

## 『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』

カリキュラムマップとカリキュラムツリーは、身につけてほしい知識・能力と授業科目との対応関係を体系的にわかりやすく示したものです。

### カリキュラムマップ

ディプロマポリシー（学位授与の方針）と授業科目の関係を示したものです。

卒業時に学科のディプロマポリシーの達成目標に到達するため、授業科目と学修成果の関係を説明しています。授業科目によって育成する能力が異なるため、伸ばしたい能力など必要に応じて科目選択の参考にしてください。

### カリキュラムツリー

到達目標を達成するために、授業科目間の系統性や関連性、配当年次を示しています。

履修の際には、左側にある科目から履修することが前提となりますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。



# 〈保育学科 第一部〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標（学修成果目標）

DP：ディプロマポリシー

①福祉マインド、創造力	①DP1 自ら構築した保育・教育観および子どもへの意識に基づき、命の大切さを尊重し、それを守るための優しさを体得し、創造力豊かに子どもと接することができる。
②専門的知識・技能、主体性、問題発見・解決力	②DP2 主体性を持って、保育・教育についての専門的知識・技能を習得した立場から、子どもたちを取り巻く環境である人間・社会・自然における多様な課題を発見し、それらの課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
③異文化理解、コミュニケーション能力	③DP3 保育・教育分野において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

科目別目標

特に重点的に育成する能力＝◎、重点的に育成する能力＝○

学年	期	科目名	①	②	③
1	前期	建学のこころ	○	○	◎
		英語 1	○	○	◎
		文章表現法	◎		◎
		基礎情報処理演習 1	○	◎	○
		日本国憲法	○	◎	○
		生活マナー演習	◎	○	◎
		保育内容総論	○	◎	○
		保育原理	○	◎	
		乳児保育 1	○	◎	○
		子ども家庭福祉	◎	○	○
		子どもの心理学	○	◎	○
		子どもの保健		◎	◎
		社会的養護 1	◎	○	○
		保育内容演習（環境）	○	◎	○
	保育者・教育者論	○	◎	○	
	教育の原理と制度	○	◎	○	
	保育内容の理解と方法（音楽）	○	◎	○	
	保育内容の理解と方法（造形）	◎	○	○	
	保育者養成基礎講座	◎	○	◎	
	後期	健康の科学	○	◎	◎
		スポーツ	○	○	◎
		基礎情報処理演習 2	○	◎	○
		英語 2	○	○	◎
		乳児保育 2	○	◎	○
		子ども家庭支援の心理学	○	◎	◎
		子どもの健康と安全		◎	◎
		地域福祉論	◎		○
保育内容演習（言葉）		○	◎	○	
保育内容演習（表現 1）		○	◎	○	
子ども理解の理論と方法		◎	○	○	
社会的養護 2		◎	○	○	
保育内容の理解と方法（身体）		○	◎	○	
歌とピアノの技術	○	◎	○		
保育者養成発展講座	◎	○	◎		
教育実習指導	◎	◎	◎		
保育実習指導 1 A	◎	◎	◎		
保育実習 1 A	◎	◎	◎		

学年	期	科目名	①	②	③
1・2 前期 あるいは 後期		女性学	○	○	◎
		心のはたらき	○	◎	◎
		文学の味わい	○	○	◎
		美と芸術	○	○	◎
		歴史の視点	○	○	◎
		くらしの経済	○	○	◎
		生活と環境	○	○	◎
		キャリア入門		○	◎

学年	期	科目名	①	②	③		
前期		社会福祉	◎	◎	○		
		特別支援保育・教育の基礎	◎	○	○		
		子どもの食と栄養 1	○	◎	○		
		障がい児保育 1	◎	◎	○		
		保育内容演習（健康）	○	◎	◎		
		子育て支援	○	◎	○		
		子どもの健康	○	◎	◎		
		子どもの人間関係	○	○	◎		
		子どもの環境	○	◎	○		
		子どもの言葉	○	◎	○		
		子どもの遊びと音楽	○	◎	○		
		保育・教育課程論	○	◎	○		
		保育者養成実践講座	◎	○	◎		
		後期		生活と福祉	○	◎	◎
				教育相談（カウンセリングを含む）	◎	◎	○
				教育の方法と技術	○	◎	○
保育・教職実践演習（幼稚園）	◎			◎	◎		
総合表現演習	◎			○	○		
子どもの食と栄養 2	○			◎	○		
保育内容演習（表現 2）	◎			◎	○		
子ども家庭支援論	◎			○	○		
障がい児保育 2	◎			◎	○		
保育内容演習（人間関係）	○			○	◎		
保育内容の理解と方法（言語）	○	○	◎				
障がい児心理学	◎	◎	○				
通年		保育実習指導 1 B	◎	◎	◎		
		保育実習指導 2	◎	◎	◎		
		教育実習	◎	◎	◎		
		保育実習 1 B	◎	◎	◎		
		保育実習 2	◎	◎	◎		

保育学科

# 〈保育学科 第三部〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標 (学修成果目標)

DP: ディプロマポリシー

①福祉マインド、創造力	①DP1 自ら構築した保育・教育観および子どもへの意識に基づき、命の大切さを尊重し、それを守るための優しさを体得し、創造力豊かに子どもと接することができる。
②専門的知識・技能、主体性、問題発見・解決力	②DP2 主体性を持って、保育・教育についての専門的知識・技能を習得した立場から、子どもたちを取り巻く環境である人間・社会・自然における多様な課題を発見し、それらの課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
③異文化理解、コミュニケーション能力	③DP3 保育・教育分野において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

## 科目別目標

特に重点的に育成する能力=◎、重点的に育成する能力=○

学年	期	科目名	①	②	③	学年	期	科目名	①	②	③	学年	期	科目名	①	②	③	
1	前期	建学のこころ	○	○	◎	2	前期	障がい児心理学	◎	◎	○	3	前期	英語2	○	○	◎	
		基礎情報処理演習1	○	◎	○			子どもの心理学	○	◎	○			子育て支援	○	◎	○	
		基礎情報処理演習2	○	◎	○			乳児保育1	○	◎	○			子どもの健康	○	◎	◎	
		文章表現法	◎		◎			障がい児保育1	◎	◎	○			子どもの人間関係	○	○	◎	
		子どもの保健		◎	◎			子ども理解の理論と方法	◎	○	○			子どもの言葉	○	◎	○	
		保育原理	○	◎				社会的養護2	◎	○	○			子どもの遊びと音楽	○	◎	○	
		社会福祉	◎	◎	○			特別支援保育・教育の基礎	◎	○	○			地域福祉論	◎		○	
		保育内容総論	○	◎	○			保育内容の理解と方法(造形)	◎	○	○			保育・教育課程論	○	◎	○	
	保育者・教育者論	○	◎	○	保育内容の理解と方法(言語)		○	○	◎	保育者養成実践講座	◎		○	◎				
	保育内容の理解と方法(音楽)	○	◎	○	歌とピアノの技術		○	◎	○	女性学	○		○	◎				
	保育者養成基礎講座	◎	○	◎	後期		後期	英語1	○	○	◎		※	後期	心のはたらき	○	◎	◎
	スポーツ	○	○	◎				子ども家庭支援の心理学	○	◎	◎				文学の味わい	○	○	◎
	健康の科学	○	◎	◎				乳児保育2	○	◎	○				美と芸術	○	○	◎
	子ども家庭福祉	◎	○	○				障がい児保育2	◎	◎	○				歴史の視点	○	○	◎
	社会的養護1	◎	○	○				保育内容演習(表現1)	○	◎	○				くらしの経済	○	○	◎
	保育内容演習(健康)	○	◎	◎				保育内容の理解と方法(身体)	○	◎	○				生活と環境	○	○	◎
保育内容演習(環境)	○	◎	○	生活マナー演習		◎		○	◎	キャリア入門		○			◎			
保育内容演習(言葉)	○	◎	○	教育相談(カウンセリングを含む)		◎		◎	○	子ども家庭支援論	◎	○			○			
保育内容演習(人間関係)	○	○	◎	保育者養成発展講座	◎	○	◎	日本国憲法	○	◎	○							
子どもの健康と安全	○	◎	◎	保育実習指導1A	◎	◎	◎	生活と福祉	○	◎	◎							
教育の原理と制度	○	◎	○	教育実習指導	◎	◎	◎	子どもの食と栄養1	○	◎	○							
				保育実習1A	◎	◎	◎	子どもの食と栄養2	○	◎	○							
								教育の方法と技術	○	◎	○							
								保育内容演習(表現2)	◎	◎	○							
								子どもの環境	○	◎	○							
								保育・教職実践演習(幼稚園)	◎	◎	◎							
								総合表現演習	◎	○	○							
								保育実習指導1B	◎	◎	◎							
								保育実習指導2	◎	◎	◎							
								保育実習1B	◎	◎	◎							
								保育実習2	◎	◎	◎							
								教育実習	◎	◎	◎							

※前期で開講している科目のみ履修可。

保育学科

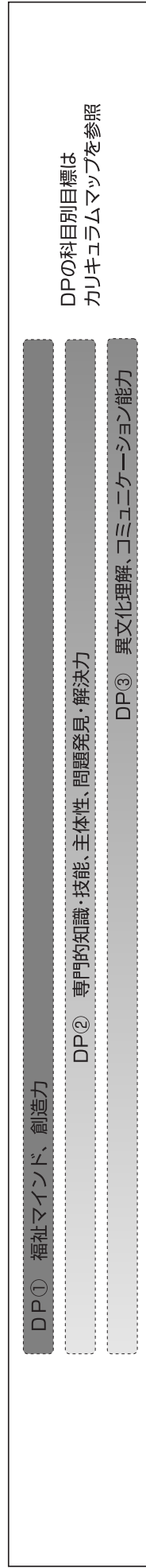
〈保育学科 第一部〉カリキュラムツリー

ツリーの見方

(1) \*印の科目はいずれかの学年で履修できる。(2) 科目名に記載の①②③は①DP1, ②DP2, ③DP3を示す。  
 (3) 資格関連の必修・選択科目についてはP.8「全学共通科目」、P.17の「教育課程について」を参照のこと。(4) 科目間の→は履修順序を示す。(逆方向の履修は控える)

科目分類	1年		2年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	
全学共通科目	③建学のころ				
	③女性学*	②③心のはたらき*	③女性学*	②③心のはたらき*	*幅広い視野に立った豊かな人間性を身に付ける。
	③文学の味わい*	③美と芸術*	③文学の味わい*	③美と芸術*	*専門科目の学修の基礎作りとなる知識や技能を身に付ける。
	②日本国憲法*	③歴史の視点*	②日本国憲法*	③歴史の視点*	
	③くらしの経済*	③生活と環境*	③くらしの経済*	③生活と環境*	
	②③生活と福祉*	③キャリア入門*	③キャリア入門*	③キャリア入門*	
	①③生活マナー演習			②③生活と福祉*	
	①③文章表現法				
	②基礎情報処理演習1 →	②基礎情報処理演習2			
	③英語1 →	③英語2			
外国語科目群					
健康科目群		②③健康の科学*		②③健康の科学*	
		③スポーツ*		③スポーツ*	
福祉の理論	①子ども家庭福祉 →	①地域福祉論 →	①②社会福祉 →	①子ども家庭支援論 ①②障がい児心理学	*福祉の専門知識や技術を身に付ける。
こころとからだの発達・健康	②子どもの心理学 →	②③子ども家庭支援の心理学	②子どもの食と栄養1 →	②子どもの食と栄養2	*乳幼児のこころと身体の発達、それらを支える小児の栄養や健康についての専門知識や技能を身に付ける。
	②③子どもの保健 →	②③子どもの健康と安全	②③子どもの食と栄養1 →	①②教育相談(カウンセリングを含む)	
		①子ども理解の理論と方法			
保育と教育の理論	②保育原理		②保育・教育課程論	②教育の方法と技術	*保育・教育の本質や目的を理解する。
	②保育者・教育者論				
	②保育内容総論				
	②教育の原理と制度				
	①社会的養護1 →	①社会的養護2			

<p>保育と教育の内容・技能</p>	<p>②保育内容演習(環境) →</p> <p>①保育内容の理解と方法(造形) →</p> <p>②保育内容の理解と方法(音楽) →</p> <p>②乳児保育1 →</p> <p>①③保育者養成基礎講座 →</p>	<p>②保育内容演習(言葉) →</p> <p>②保育内容演習(表現1) →</p> <p>②歌とピアノの技術 →</p> <p>②保育内容の理解と方法(身体) →</p> <p>②乳児保育2 →</p> <p>①③保育者養成発展講座 →</p>	<p>②③子どもの健康</p> <p>②③保育内容演習(健康)</p> <p>①特別支援保育・教育の基礎</p> <p>①②障がい児保育1 →</p> <p>②子どもの環境</p> <p>②子どもの言葉</p> <p>②子どもの遊びと音楽</p> <p>③子どもの人間関係</p> <p>②子育て支援</p> <p>①③保育者養成実践講座</p>	<p>①②障がい児保育2</p> <p>③保育内容の理解と方法(言語)</p> <p>①②保育内容演習(表現2)</p> <p>①総合表現演習</p> <p>③保育内容演習(人間関係)</p> <p>①②③保育・教職実践演習(幼稚園)</p>	<p>*保育と教育の内容について実践的に学び、これらに必要な技能を身に付ける。</p>
<p>保育と教育の実践</p>	<p>①②③保育実習指導1A</p> <p>①②③保育実習1A</p> <p>①②③教育実習指導</p>	<p>①②③保育実習指導1B</p> <p>①②③保育実習1B</p> <p>①②③保育実習指導2</p> <p>①②③保育実習2</p> <p>①②③教育実習</p>	<p>①②③保育実習指導1B</p> <p>①②③保育実習1B</p>	<p>*保育・教育の現場や対象である子どもを総合的に理解し、保育士・幼稚園教諭としての資質を高め実践力を身に付ける。</p>	



〈保育学科 第三部〉カリキュラムツリー

ツリーの見方

(1) 科目名に記載の①②③は①DP1、②DP2、③DP3を示す。

(2) 資格関連の必修・選択科目についてはP.8「全学共通科目」、P.18の「教育課程について」を参照のこと。

(3) 科目間の→は履修順序を示す。(逆方向の履修は控える)

科目分類	1年		2年		3年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
建学のところ	③建学のところ						
	①③文章表現法 ②基礎情報処理演習1 ②基礎情報処理演習2			①③生活マナー演習	③女性学 ③文学の味わい ③くらしの経済 ②③心のはたらき ③美と芸術 ③歴史の視点 ③キャリア入門 ③生活と環境	②日本国憲法 ②③生活と福祉	*幅広い視野に立った豊かな人間性を身に付ける。 *専門科目の学修の基礎作りとなる知識や技能を身に付ける。
全学共通科目							
外国語科目群				③英語1 →	③英語2		
健康科目群		②③健康の科学 ③スポーツ					
福祉の理論	①②社会福祉 →	①子ども家庭福祉 →	①②障がい児心理学 →		①地域福祉論 →		*福祉の専門知識や技術を身に付ける。
	②③子どもの保健 →	②③子どもの健康と安全	②子どもの心理学 → ①子ども理解の理論と方法	②③子ども家庭支援の心理学 ①②教育相談		②子どもの食と栄養1 ②子どもの食と栄養2	*乳幼児のころと身体の発達、それらを支える小児の栄養や健康についての専門知識や技能を身に付ける。
保育と教育の理論	②保育原理 →	②教育の原理と制度 ②保育者・教育者論 ②保育内容総論	②保育の理論 ①社会的養護1 →	②保育課程論 ①社会的養護2	②保育・教育課程論	②教育の方法と技術	*保育・教育の本質や目的を理解する。

<p>保育と教育の内容・技能</p>	<p>②保育内容の理解と方法(身体)</p> <p>②③保育内容演習(健康)</p> <p>②保育内容演習(環境)</p> <p>①特別支援保育・教育の基礎</p> <p>①②障がい児保育1</p> <p>③保育内容の理解と方法(言語)</p> <p>①保育内容の理解と方法(造形)</p> <p>②歌とピアノの技術</p> <p>③保育内容演習(人間関係)</p> <p>②乳児保育1</p> <p>①③保育者養成基礎講座</p>	<p>②保育内容の理解と方法(身体)</p> <p>①②障がい児保育2</p> <p>③保育内容の理解と方法(言語)</p> <p>②保育内容演習(表現1)</p> <p>②歌とピアノの技術</p> <p>②乳児保育2</p> <p>①③保育者養成発展講座</p>	<p>②子育て支援</p> <p>②③子どもの健康</p> <p>②子どもの言葉</p> <p>②子どもの遊びと音楽</p> <p>③子どもの人間関係</p> <p>①③保育者養成実践講座</p>	<p>①総合表現演習</p> <p>①②保育内容演習(表現2)</p> <p>①②③保育・教職実践演習(幼稚園)</p>	<p>*保育と教育の内容について実践的に学び、これらに必要な技能を身に付ける。</p>
<p>保育と教育の実践</p>	<p>①②③保育実習指導1A</p> <p>①②③保育実習1A</p> <p>①②③保育実習指導2</p> <p>①②③保育実習2</p> <p>①②③教育実習指導</p>	<p>①②③保育実習指導1A</p> <p>①②③保育実習1A</p> <p>①②③保育実習指導2</p> <p>①②③保育実習2</p> <p>①②③教育実習指導</p>	<p>①②③保育実習指導1B</p> <p>①②③保育実習1B</p> <p>①②③保育実習指導2</p> <p>①②③保育実習2</p> <p>①②③教育実習</p>	<p>*保育・教育の現場や対象である子どもを総合的に理解し、保育士・幼稚園教諭としての資質を高め実践力を身に付ける。</p>	

DP① 福祉マインド、創造力

DP② 専門的知識・技能、主体性、問題発見・解決力

DP③ 異文化理解、コミュニケーション能力

DPの科目別目標はカリキュラムマップを参照

## 取得した資格・検定に対する単位認定科目(生活学科)

この科目は、大学以外の教育施設等における学修として、文部科学省認定およびそれに準じる技能資格の審査に合格した者について、「名古屋女子大学短期大学部 技能審査の合格に係る学修の単位認定規程」に基づき所定の単位を認定するものです。認定の対象となる資格は下記のとおりです。

### ■学科共通資格

主催	取得資格・検定	級	認定単位数	対象科目
財団法人日本英語検定協会	実用英語技能検定(STEP)	2級以上	2 単 位	英 語 1 、 英 語 2
財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	T O E I C	500点以上	2 単 位	英 語 1 、 英 語 2
経 済 産 業 省	I T パ ス ポ ー ト		4 単 位	情報処理総論、情報科学概論、 インターネットテクノロジー、 情報と社会、基礎IT総合演習、 情報ビジネス数学、 実践IT総合演習
	基本情報技術者		8 単 位	
	情報セキュリティマネジメント		8 単 位	

※資格・検定の取得による認定単位の上限は8単位です。

また、資格・検定の取得時期は、認定の申請が行われる年度の3年前までです。

※出願の時期は、前期は4月の教授会(第3金曜日)の1週間前

後期は9月の教授会(第3金曜日)の1週間前までです。

## 生活学科・保育学科において修得可能な開放科目

区 分	授 業 科 目	授業形態	単位数	備 考
生 活 学 科	生 活 学	講義	2	保育学科の学生が対象
	くらしとインターネット	講義	2	
	色 彩 学	講義	2	
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	講義	2	
	マルチメディアテクノロジー	講義	2	
	海 外 総 合 演 習	演習	2	
	地 域 貢 献 入 門 演 習	演習	1	
	地 域 貢 献 基 礎 演 習	演習	1	
保 育 学 科	社 会 福 祉	講義	2	生活学科の学生が対象
	地 域 福 祉 論	講義	2	
	障 が い 児 心 理 学	講義	2	
	子 ども の 保 健	講義	2	
	子 ども の 健 康 と 安 全	演習	1	

\*上記科目について、時間割編成上の配慮はしません。

\*修得した単位は、8単位を上限として卒業要件に算入できます。

\*生活学科「海外総合演習」は、原則隔年開講の予定です。



# IV. 免許・資格

## 1. 教員免許状

〔1〕 本学で教員免許状授与の所要資格を取得できる免許状は次のとおりです。

学 科	免 許 状 の 種 類
保 育 学 科	幼稚園教諭二種免許状

〔2〕 教員免許状を取得するためには、短期大学を卒業し（短期大学士の学位を有し）、「教育職員免許法及び同法施行規則」に定められた科目を履修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

- 1) 免許状の種類にかかわらず「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」について、それぞれ2単位以上を修得しなければなりません。
- 2) 法により免許状の種類ごとに「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」の最低修得単位数がそれぞれ規定されています。  
免許状に関する履修方法を、掲載していますので、それに基づいて必要な科目及び単位数を修得してください。

免 許 状 の 種 類	基 礎 資 格	専 門 科 目 の 最 低 修 得 単 位 数		
		領 域 及 び 保 育 内 容 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	大 学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目
幼 稚 園 教 諭 二 種 免 許 状	短 期 大 学 士 の 学 位 を 有 す る 事 実	12	17	2

（注）この表で示しているのは、法規上の最低修得単位数です。本学で必要とする単位数は次ページ以降の各表に示してあります。

### 〔3〕 教育実習の履修について

教育実習の単位修得には、「学校現場における実習」（4単位）と「事前及び事後の指導」（1単位）が必要です。

事前及び事後の指導の授業科目として、「教育実習指導」を開講しています。その授業内容は次のとおりです。

1. 事前指導
  - (1) 教育実習の意義と目標
  - (2) 教育実習の内容の概要
  - (3) 教育実習の心得
  - (4) 実習園での研究と大学での研究の連繋
2. 事後指導
  - (1) 実習記録の整理、報告書作成指導（実習終了後1週間以内）
  - (2) 教育実習報告会での反省と自己評価

教育実習園の決定にあたっては、教育実習担当者の指導に従ってください。なお実習園決定後はその変更はできません。

教育実習を履修する学生は、教育実習に必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

教育実習後、実習記録および報告書の提出が指定された期日までに認められない場合は、教育実習の単位の取得はできません。



〔4〕履修要件

- (1) 教育実習関連の指定科目(別表1および別表2)が実習(事前訪問を含む)開始前までに、2科目以上の科目の単位が修得出来なかった場合(再履修中の科目は除外)は、原則として実習の履修を認めない。開講時期または教育課程の変更等により指定科目の別表を改める必要が生じた場合には、教授会または学則別表の変更に係る所定の手続きに基づき改正する。
- (2) 実習の事前指導(教育実習指導)をやむを得ない事情で欠席する場合は、事前または直後に授業担当者へ届け出ること。無断で欠席・遅刻・早退した場合は、原則として実習の履修を認めない。
- (3) 上記に記載された実習の事前指導に係る授業態度及び課題提出等、教員の指示や提出期限を遵守できない場合は、原則として実習の履修を認めない。やむを得ない事情により、期限までに課題の提出ができない場合は、事前または直後に授業担当者へ願い出て許可を得ること。
- (4) 成績が著しく不振な場合(GPA1.0以下)、または学則等の違反、他の学生の修学の妨げとなる行為を行ったと認められる場合は、実習(中断された実習も含む)の履修を許可しない。

別表1 保育学科第一部 教育実習に関連する科目

「教育実習」の履修要件：2科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
子どもの心理学	2	子ども理解の理論と方法	1	保育内容総論	1
教育の原理と制度	2	保育者・教育者論	2	保育内容演習(環境)	1
保育内容演習(言葉)	1	保育内容演習(表現1)	1	保育内容の理解と方法(身体)	1
教育実習指導	1				

別表2 保育学科第三部 教育実習に関連する科目

「教育実習」の履修要件：2科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
子どもの心理学	2	教育の原理と制度	2	保育者・教育者論	2
保育内容総論	1	特別支援保育・教育の基礎	2	保育内容演習(健康)	1
保育内容演習(人間関係)	1	保育内容演習(環境)	1	保育内容演習(言葉)	1
保育内容演習(表現1)	1	保育内容の理解と方法(身体)	1	教育実習指導	1
子ども理解の理論と方法	1	教育相談(カウンセリングを含む)	2		

〔5〕教員免許状の授与申請について

申請手続 教員免許状は、本学で一括して申請し、卒業式当日に渡します。それに必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

〔教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〕

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目						
免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学の開設授業科目 (幼二種免に必要な修得単位数)			備 考	
科 目	単位数	授 業 科 目	単 位 数			
			必修	選択		
日 本 国 憲 法	2	日 本 国 憲 法	2			
体 育	2	健 康 の 科 学 ス ポ ー ツ	2 1			
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	英 語	1	1	} 2単位以上 選択必修	
		英 語	2	1		
		フ ラ ン ス 語	1			1
		フ ラ ン ス 語	2			1
		中 国 語	1			1
情 報 機 器 の 操 作	2	基 礎 情 報 処 理 演 習 1	1			
		基 礎 情 報 処 理 演 習 2	1			

(注) 外国語コミュニケーションは、同じ外国語科目1・2の両方の単位を履修するものとします。

<領域及び保育内容の指導法に関する科目>

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目 (幼二種免に必要な修得単位数)			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単 位 数		
			必 修	選 択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健 康	子 ども の 健 康	1	
		人 間 関 係	子 ども の 人 間 関 係	1	
		環 境	子 ども の 環 境	1	
		言 葉	子 ども の 言 葉	1	
		表 現	総 合 表 現 演 習	1	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		保 育 内 容 総 論	1	
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		保 育 内 容 演 習 (健 康)	1	
			保 育 内 容 演 習 (人 間 関 係)	1	
			保 育 内 容 演 習 (環 境)	1	
			保 育 内 容 演 習 (言 葉)	1	
保 育 内 容 演 習 (表 現 1)			1		
		保 育 内 容 演 習 (表 現 2)	1		
		保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (身 体)	1		

<教育の基礎的理解に関する科目等>

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目 (幼二種免に必要な修得単位数)		
科 目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単 位 数	
				必 修	選 択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	6	教 育 の 原 理 と 制 度	2	
			保 育 者 ・ 教 育 者 論	2	
			子 ども の 心 理 学	2	
			特 別 支 援 保 育 ・ 教 育 の 基 礎	2	
			保 育 ・ 教 育 課 程 論	2	
			道 徳 、 総 合 的 な 学 習 の 時 間 等 の 指 導 法 及 び 生 徒 指 導 、 教 育 相 談 等 に 関 する 科 目	4	教 育 の 方 法 と 技 術
幼 児 理 解 の 理 論 及 び 方 法	子 ども 理 解 の 理 論 と 方 法	1			
教 育 相 談 (カウ ン セ リ ン グ に 関 す る 基 礎 的 な 知 識 を 含 む 。) の 理 論 及 び 方 法	教 育 相 談 (カウ ン セ リ ン グ を 含 む )	2			
教育実践に関する科目	教育実習 保育・教職実践演習 (幼稚園)	5 2	教 育 実 習	4	
			教 育 実 習 指 導	1	
			保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	2	

<大学が独自に設定する科目>

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目 (幼二種免に必要な修得単位数)		
科目区分	授業科目	単 位 数		
		必 修	選 択	
大学が独自に設定する科目	障 が い 児 心 理 学		2	
	歌 と ピ ア ノ の 技 術		1	
	子 ども の 遊 び と 音 楽		1	
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (音 楽)		1	
	保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (造 形)		1	
備 考	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得。			

## 2. 保育士

### 〔1〕 保育士資格

保育学科では、児童福祉法に定められた保育士の資格を取得することができます。保育学科を卒業と同時に保育士資格を取得できますが、そのためには卒業に必要な単位とともに「保育士の資格を取得するために必要な科目」の単位を修得する必要があります。

保育士資格取得には、(1) 教養科目15単位以上、(2) 指定科目61単位以上の修得が必要です。(32ページの表)

### 〔2〕 保育実習

保育士は保育所をはじめとする児童福祉施設で子どもの保育にあたりるとともに、最近では地域の子育て支援活動を支えることも期待されています。そのために、「保育実習」により、保育現場において実践力を養うことが重要です。

保育現場における「保育実習」にあたって、本学及び実習施設の指示に従わなくてはなりません。もしもその指示に反した場合には、実習を中止させられることがあります。また、誓約書の事項を遵守できなかった場合は、保育者養成が失格になったと判断され、当該年度履修する「保育実習」全ての単位が不合格になります。

### 〔3〕 履修要件

(1) 保育実習関連の指定科目(別表1-1および別表1-2)が実習(事前訪問を含む)開始前までに、2科目以上の科目の単位が修得出来なかった場合(再履修中の科目は除外)は、原則として実習の履修を認めない。

開講時期または教育課程の変更等により指定科目の別表を改める必要が生じた場合には、教授会または学則別表の変更に係る所定の手続きに基づき改正する。

(2) 実習の事前指導(保育実習指導)をやむを得ない事情で欠席する場合は、事前または直後に授業担当者へ届け出ること。

無断で欠席・遅刻・早退した場合は、原則として実習の履修を認めない。

(3) 上記に記載された実習の事前指導に係る授業態度及び課題提出等、教員の指示や提出期限を遵守できない場合は、原則として実習の履修を認めない。

やむを得ない事情により、期限までに課題の提出ができない場合は、事前または直後に授業担当者へ願い出て許可を得ること。

(4) 成績が著しく不振な場合(GPA1.0以下)、または学則等の違反、他の学生の修学の妨げとなる行為を行ったと認められる場合は、実習(中断された実習も含む)の履修を許可しない。

#### 別表1-1 保育学科第一部 保育実習に関連する科目

(1) 「保育実習1A」の履修要件：2科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
子ども家庭福祉	2	子どもの心理学	2	子どもの保健	2
保育原理	2	保育内容総論	1	社会的養護1	2
教育の原理と制度	2	保育者・教育者論	2	乳児保育1	2
保育内容演習(環境)	1	保育内容の理解と方法(音楽)	1	保育内容の理解と方法(造形)	1

(2) 「保育実習1B」・「保育実習2」の履修要件：上表「(1)」の科目と下表の科目を合わせ、2科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
子ども家庭支援の心理学	2	子どもの健康と安全	1	子ども理解の理論と方法	1
社会的養護2	1	乳児保育2	1	保育内容演習(言葉)	1
保育内容演習(表現1)	1	保育内容の理解と方法(身体)	1	保育実習指導1A	1

## 別表 1-2 保育学科第三部 保育実習に関連する科目

(1) 「保育実習 1 A」の履修要件：2 科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
社会福祉	2	子ども家庭福祉	2	子どもの心理学	2
子どもの保健	2	子どもの健康と安全	1	子ども理解の理論と方法	1
保育原理	2	保育内容総論	1	社会的養護 1	2
社会的養護 2	1	教育の原理と制度	2	保育者・教育者論	2
乳児保育 1	2	障がい児保育 1	1	保育内容演習（健康）	1
保育内容演習（人間関係）	1	保育内容演習（環境）	1	保育内容演習（言葉）	1
保育内容の理解と方法（音楽）	1	保育内容の理解と方法（造形）	1	保育内容の理解と方法（言語）	1

(2) 「保育実習 1 B」・「保育実習 2」の履修要件：上表「(1)」の科目と、下表の科目を合わせ、2 科目以上の単位を未修得の場合は履修不可

科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
子ども家庭支援の心理学	2	乳児保育 2	1	障がい児保育 2	1
保育内容演習（表現 1）	1	保育内容の理解と方法（身体）	1	保育実習指導 1 A	1

### 〔4〕保育実習の種類と履修時期および実習施設

実習の種類	実習施設	履修年次		履修時期	履修方法(単位数)
		第一部	第三部		
保育実習 1 A	保育所	1 年	2 年	2 月中旬～3 月上旬頃	必修（2 単位）
保育実習 1 B	施設 <sup>※1</sup>	2 年	3 年	7 月中旬～11 月下旬頃	必修（2 単位）
保育実習 2	保育所	2 年	3 年	8 月下旬～9 月上旬頃	選択必修 （2 単位） <sup>※2</sup>

※ 1. 「施設」は保育所以外の実習施設を表します。

※ 2. 選択必修科目として「保育実習 2」を履修し単位を取得してください。

※ 3. 各実習の履修時期の変更はできません。

### 〔5〕その他

保育実習を履修する学生は、保育実習に必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

保育実習後、実習記録および課題の提出が指定された期日までに認められない場合、保育実習指導を無断で欠席・遅刻・早退した場合は、原則として保育実習の単位の取得はできません。

なお、全国保育士養成協議会が実施する保育士試験について、本学では幼稚園教諭免許状所有者を対象とした科目免除は原則実施しておりません。

\* 幼保連携型認定こども園勤務の保育教諭には、保育士資格と幼稚園教諭免許状が必要です。

# 保育士の資格を取得するために必要な科目

(1) 教養科目15単位以上

(外国語、体育以外の教養科目 外国語 体育 体育)	10単位以上
	2単位以上
	2単位(講義)
	1単位(実技)

(2) 指定科目61単位以上

系 列	本学における開設科目	授業形態	保育士資格取得に必要な修得単位数	
			必 修	選 択
保育の本質・目的に関する科目	保育の原理	講義	2	
	教育の原理と制度	講義	2	
	子ども家庭福祉	講義	2	
	社会福祉	講義	2	
	子ども家庭支援論	講義	2	
	社会的養護1	講義	2	
	保育者・教育者論	講義	2	
保育の対象の理解に関する科目	地域福祉論	講義		2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	
	子ども理解の理論と方法	演習	1	
	子どもの保健	講義	2	
	子どもの食と栄養1	演習	1	
	子どもの食と栄養2	演習	1	
	障がい児心理学	講義		2
保育の内容・方法に関する科目	保育・教育課程論	講義	2	
	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習(健康)	演習	1	
	保育内容演習(人間関係)	演習	1	
	保育内容演習(環境)	演習	1	
	保育内容演習(言葉)	演習	1	
	保育内容演習(表現1)	演習	1	
	保育内容演習(表現2)	演習	1	
	保育内容の理解と方法(言語)	演習	1	
	保育内容の理解と方法(造形)	演習	1	
	保育内容の理解と方法(身体)	演習	1	
	保育内容の理解と方法(音楽)	演習	1	
	乳児保育1	講義	2	
	乳児保育2	演習	1	
	子どもの健康と安全	演習	1	
	障がい児保育1	演習	1	
	障がい児保育2	演習	1	
	社会的養護2	演習	1	
	子育て支援	演習	1	
	教育相談(カウンセリングを含む)	講義		2
特別支援保育・教育の基礎	講義		2★	
総合演習	子どもの健康	実習		1★
	子どもの人間関係	実習		1★
	子どもの環境	演習		1★
	子どもの言葉	演習		1★
	総合表現演習	演習		1
	保育者養成基礎講座	講義		1★
	保育者養成発展講座	講義		1★
	保育者養成実践講座	講義		1★
	歌とピアノの技術	講義		1
	子どもの遊びと音楽	演習		1
保育実習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	
	保育実習1 A	演習	2	
	保育実習1 B	演習	2	
	保育実習指導1 A	演習	1	
	保育実習指導1 B	演習	1	
	保育実習2	実習		2★
合計	保育実習指導2	演習		1★
	合計		52	★の12単位はすべて修得すること

(注) 選択必修科目として「保育実習2」「保育実習指導2」を履修し単位を取得してください。



### 3. 上級情報処理士・情報処理士資格

生活学科で所定の単位を修得した学生は、全国大学実務教育協会の「上級情報処理士・情報処理士」の資格が取得できます。

コンピュータシステムと情報通信技術について理解を深めるとともに、ビジネスの現場でもとめられる、ソフトウェア操作、インターネット活用、データ管理などのしかたを習得し、IT化がすすむ現代社会において、より高度なビジネス活動ができる人材として認定される資格です。特に、『上級情報処理士』は、4年制大学の情報学科とほぼ同じ内容の知識・技術を身につけた人に与えられる資格です。

資格を取得するには、生活学科カリキュラムに明記された所定の科目を修得する必要があります。

卒業時に認定を受けるためには、2年次後期の段階で申請をします。このとき、審査手数料が必要です。認定証は、「取得」できる場合に、卒業式当日に交付されます。なお、『上級情報処理士』と『情報処理士』については、2種類を同時に取得することも、いずれか1つのみを取得することもできます。

### 4. 秘書士資格

生活学科で所定の単位を修得した学生は、全国大学実務教育協会の「秘書士」の資格が取得できます。

秘書とはどのような業務なのかを理解するとともに、スケジュールリングや接遇のしかた、言葉づかいや慶弔・贈答のマナー、企業経営・事業活動のしくみに関する知識などを習得し、経営者や管理者を効果的にサポートし、さらにはコーディネート役のできる人材として認定される資格です。

資格を取得するには、生活学科カリキュラムに明記された所定の科目を修得する必要があります。

卒業時に認定を受けるためには、2年次後期の段階で申請をします。このとき、審査手数料が必要です。認定証は、「取得」できる場合に、卒業式当日に交付されます。

### 5. 上級ビジネス実務士・ビジネス実務士資格

生活学科で所定の単位を修得した学生は、全国大学実務教育協会の「上級ビジネス実務士・ビジネス実務士」の資格が取得できます。

企業の組織構造や経営資源としての人・物・金・情報について理解を深めるとともに、情報収集・活用、企画立案、文書作成などの実務能力や、課題解決に向けてメンバーと協働する総合的な実践力を習得し、即戦力となるビジネスのプロフェッショナルとなる人材として認定される資格です。特に『上級ビジネス実務士』は、4年制大学の情報、ビジネス系の学科とほぼ同じ知識・技術を身につけた人に与えられる資格です。

資格を取得するには、生活学科カリキュラムに明記された所定の科目を修得する必要があります。

卒業時に認定を受けるためには、2年次後期の段階で申請をします。このとき、審査手数料が必要です。認定証は、「取得」できる場合に、卒業式当日に交付されます。なお、『上級ビジネス実務士』と『ビジネス実務士』については、2種類を同時に取得することも、いずれか1つのみを取得することもできます。

### 6. フォーマルスペシャリスト検定準2級(ブロンズライセンス)資格

生活学科において、所定の2科目を受講し、一定期間フォーマルウェアの教育を受けた後、認定試験(メンズ・レディース)を受け合格すれば、日本フォーマル協会のフォーマルスペシャリスト検定準2級(ブロンズライセンス)が取得できます。

国際化する社会にふさわしいマナーを覚えてスキルアップし、T・P・Oに対するフォーマルウェアドレスコード(服装指定)の基本を習得します。

## 7. ドレメ式洋裁教員認定資格

生活学科ファッションデザインコースでは、「ドレメ式洋裁教員認定」に必要な単位を修得した学生は、一般財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会が認定する「ドレメ式洋裁教員3級認定」が受けられます。

許可・認証校である本学において2ヵ年以上の服飾関係の専門教育（ドレメ式洋裁教員認定の項における○印の科目履修）を受け、卒業が見込まれるものに対して申請すれば3級が認定されます。

## 8. レストランサービス技能士3級国家検定技能資格

生活学科で所定の単位を修得した学生は、「レストランサービス技能士3級」を受けることができます。試験は、学科試験と実技試験があり合格すると一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会から「レストランサービス技能士3級」の国家資格が取得できます。

ホテル・レストラン等での接客サービスについては、「食」についての高級化、国際化が進むとともに重要であり、質的向上が求められています。

受検資格を取得するには、生活学科カリキュラムのレストランサービス技能士の項にある○印を履修する必要があります。また、夏期休業期間中にホテル・レストラン等での学外実習が必要となります。技能審査試験実施年度中に卒業が見込まれる者に対して3級受検資格を与えるものであって、技能試験に合格しても、学校を卒業できなかった場合の資格は無効となります。

## 9. フードコーディネーター3級認定資格

生活学科において「フードコーディネーター」に必要な単位を修得した学生は、日本フードコーディネーター協会の「フードコーディネーター3級認定資格」が取得できます。

フードコーディネーターはフードビジネス（商品開発、店舗プロデュースなど）をコーディネートする専門的知識を持つ人材です。調理学、栄養学、食品学と共に食文化、テーブルコーディネート、フードマネジメントなどを学び、食品メーカーや飲食店などで商品やメニューの開発、イベントの企画、マネジメントなどでの活躍を目指します。

資格を取得するには、生活学科カリキュラムのフードコーディネーターの項における○印の科目を履修する必要があります。「フードコーディネーター3級認定資格」の手続きは、本学で一括して行い、認定証書と認定カードは卒業式当日に渡します。なお、認定登録に係わる経費は、指定された期日内に納めることとなります。

## 10. 医療秘書実務士資格

生活学科で所定の単位を修得した学生は、日本医療福祉実務教育協会の「医療秘書実務士」の資格が取得できます。

医療秘書実務士は、専門分化・高度化する医療体系の中でチーム医療を円滑に行うための事務の専門職です。その為に健康、福祉などの基礎知識、IT技術、接遇マナーなどの内容を学び、医療機関での活躍を目指します。

資格を取得するには、生活学科カリキュラムの医療秘書実務士の項における○印の科目を履修する必要があります。科目の中に、2年次の夏期休業期間に行われる病院実習（医療秘書実務実習）がありますので、履修する学生は、必ず1年次から始まる事前オリエンテーションと2年次の「医療秘書実務実習指導」を受講し、病院実習の事前・事後指導を受けてください。

「医療秘書実務士」認定証交付の申請は、本学で一括して行い、認定証は卒業式当日に渡します。なお、認定登録に係わる経費は、指定された期日内に納めることとなります。

# V. 海外留学

## 「留学」について

- 1) 外国の大学や、それに相当する高等教育機関に学ぶことを希望し、所定の手続きをして教授会で許可されれば、本学に在籍したまま留学することができます。
- 2) 留学には、次の2種類があります。
  - ① 本学と留学協定を結んだ大学への留学(=協定留学)
  - ② 学長が認めたその他の大学・高等教育機関への留学(=認定留学)
- 3) 本学の留学制度の主な点の概要は次のとおりですが、詳しいことは学科の先生か、海外交流室に尋ねてください。海外交流室がおこなう留学説明会で話を聞くこともできます。

### 〈留学の資格〉

本学に1学期以上在学し、教授会が定める所定の単位数を修得した者

### 〈留学期間〉

1年以内。(ただし、特に必要と認められれば1年以内に限って延長できるが、修業年限に算入できるのは1年が限度)

### 〈出願手続き〉

「留学願」は必要書類とともに、定められた期間に海外交流室に提出してください。

### 〈単位の認定〉

留学先で取得した授業科目の単位は30単位を上限として、本学で取得した単位として認められます。単位の認定を希望する場合は、留学前に学科の先生に相談して指導を受けてください。

### 〈留学中の納付金と助成〉

別に定めがあります。

- 4) 留学を実現するまでには入念な準備が必要です。留学を考えるにあたって、次のことをしっかり考えてください。
  - ① 何を勉強したいのか。  
将来の目標も含めてじっくり考え、その目標達成のために、留学が最も適切な選択かどうかを見きわめます。
  - ② どの国の、どんな学校で学びたいか。  
自分に適した留学先、学校(大学、短期大学、語学学校、専門学校)を、履修したい科目や必要経費のことなども含めて検討してください。
  - ③ 何年次の、いつからいつまでの留学か。
  - ④ 留学に必要な語学力・学力を備えているか。
  - ⑤ 留学費用の資金計画は十分か。



# VI. 履修の案内

## 1. 履修登録について

### 履修登録

みなさんは、自己の責任において、履修すべき授業科目を決定し、所定の期間内に登録の手続きを完了しなければなりません。登録を怠れば、当該年度における授業科目の履修の権利を放棄したことになります。

1. 履修登録は、年1回4月に行います。

各年度の履修登録に関しては、別途配付する「ポータルサイト操作マニュアル」にしたがってください。

2. 「履修確認」画面で必ず履修内容を確認してください。履修登録(後期科目)の修正が必要となった場合、後期登録修正期間内に修正を行うことができます。

1) 後期登録修正(9月):対象は後期科目のみです。

### 履修登録の留意点

1. 「授業計画(シラバス)」を熟読し、卒業要件、各種免許・資格に必要な科目、単位を確認して、履修計画を立ててください。

(注)履修登録確定後に授業科目の受講を放棄した場合は、GPAに影響しますので注意してください。

2. 授業時間割で履修する科目の曜日・時限を確認し、履修登録しようとする科目が重複しないように注意してください。

3. 登録ミス、登録漏れのないように注意して登録してください。

4. 定員が設定されている抽選科目は、抽選後に必ず受講可能か確認してください。

[ポータルサイトURL] <https://portal.nagoya-wu.ac.jp/campusweb/top.do>

5. 履修登録確定後の授業科目の追加・変更及び放棄は原則として認められません。

6. 履修者が少ない授業科目は、不開講となることがあります。

### 履修登録の上限設定

各学期・年間の履修登録をする際に、登録科目数(単位数)の上限を設定しています。履修登録科目数(単位数)の上限を設定することをCAP制といいます。

登録科目数(単位数)の上限設定により、多くの科目を広く浅く学修するのではなく、学修すべき授業の単位制度が実質化(1単位を取得するにあたって必要な学修時間45時間を確保)され、各年次にわたって適切に授業科目を履修でき、授業内容を深く身に付けられるようになります。

上限単位数の設定は、以下のとおりです。

学 科		履修科目の上限単位数					
		1 年 次		2 年 次		3 年 次	
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
保 育 学 科	第 一 部	50		25	25	/	
	第 三 部	30		30			
生 活 学 科		25	25	25	25	/	

1. 上限単位数から除外する科目等
  - (1) 全学科共通 : 「建学のこころ」
  - (2) 生活学科共通 : 「海外総合演習」「卒業研究」
  - (3) 保育学科 : 「保育実習 1A」「保育実習指導 1A」「保育実習 1B」「保育実習指導 1B」「保育実習 2」「保育実習指導 2」「教育実習」「教育実習指導」「保育者養成基礎講座」「保育者養成発展講座」「保育者養成実践講座」
2. 集中講義科目、愛知学長懇話会における単位互換科目および名古屋女子大学単位互換科目は、当該開講学期に含めます。
3. 特に必要と学長が認めた学生は、上限単位数を超えて履修登録を認めることがあります。この場合の単位数は教授会で決定します。
4. 通年開講科目の単位は、前期・後期に等分して、各学期に配分します。

## 1. 特別履修届の提出について

以下に該当する場合は、特別履修届を学生支援センターへ提出する必要があります。特別履修届は学生支援センターにあります。

- ① 全学共通科目〔必修科目〕を他学科で下級履修する場合
- ② 全学共通科目（外国語科目）を他学科で履修する場合
- ③ 専門科目を他クラスで履修（あるいは下級履修）する場合
- ④ 開放科目を履修する場合
- ⑤ 振替を要する科目を履修する場合

## 2. 資格・免許の申請、取り消しについて

免許・資格申請の登録を履修登録期間中に履修登録画面の「資格申請」から必ず行ってください。また、登録した資格・免許を取り消す場合は、「免許・資格取消申請書」を提出してください。

申請書は、学生支援センターにあります。

## 2. 授業及び試験について

### 授 業

#### 〔1〕 授業の開講形態

本学で開講される授業の開講形態は次のとおりです。

- 1) 通年開講………1年間にわたって授業が行われます。
- 2) 半期開講………前期あるいは後期の半年間原則授業が行われます。
- 3) 集中講義………上記の通年または半期科目が、教育上特別の必要があると認められる科目、あるいは特別の事情により毎週授業が行えない場合、夏期及び冬期の休業期間中またはその前後に短期間集中的に行われます。

#### 〔2〕 授業時間割

学生ポータルサイトで確認ができます。また、学生支援センター前ホール掲示板にも掲示します。(事情により授業時間割・教室を変更したときも学生ポータルサイト(教務掲示一覧)と、掲示板でお知らせします。)

#### 〔3〕 授業・試験時間

本学の授業及び試験の時間は次のとおりです。

1・2限	9：00～10：30	1・2・3限	9：00～11：20
3・4限	10：40～12：10	2・3・4限	9：50～12：10
5・6限	13：00～14：30	5・6・7限	13：00～15：20
7・8限	14：40～16：10	7・8・9限	14：40～17：00
9・10限	16：20～17：50		

#### 〔4〕 休 講

本学の行事あるいは授業担当教員のやむを得ない理由により、授業を休講にすることがあります。

- 1) あらかじめわかっている休講は、学生支援センター前ホール掲示板に掲示します。
- 2) 休講掲示がなく、始業時間から30分以上経過しても授業担当教員が現れず、また何の連絡もない場合は学生支援センターに連絡をし、指示を受けてください。
- 3) 災害及び交通機関ストライキの場合  
地震、台風等の災害や交通機関のストライキにより運行が中止された場合の授業、試験は次のとおり取り扱います。

災害及び交通機関ストライキに係る発表・発令等	発表・発令等の時間	本学の講ずる措置
「南海トラフ地震臨時情報」の発表	「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表された場合	発表時
	南海トラフ地震臨時情報の「調査中」、「調査終了」、「巨大地震注意」が発表された場合であっても、平常通り授業、試験を実施します。	

「特別警報」または「暴風警報」の発令	名古屋市に発令された場合	午前6時現在 発令されている場合	午前中休講
		午前10時現在 発令されている場合	全日休講
交通ストライキ	名古屋市営の交通機関、名鉄、JRのいずれか一つの交通機関が交通ストライキを行った場合（その他の交通機関は平常通り授業、試験を実施する）	午前6時現在 ストが継続している場合	午前中休講
		午前10時現在 ストが継続している場合	全日休講
上記以外の場合において、授業、試験を実施することが困難であると予想されるときは、本学の防災本部、防災対策委員会の指示により休講措置等の判断を行います。			

次の場合は、上の表に準じて取り扱います。（授業、試験は実施されますが、出校できなかった場合は、学生支援センターで必要な手続きをすることにより欠席とはみなしません。）

- ① 名古屋市以外の居住者の居住区域、通学経路に「特別警報」または「暴風警報」が発令された場合
- ② 災害等により、交通機関が不通になった場合
- ③ 上の表以外の交通機関がストライキを行った場合

※上記①～③により受験できなかった期末試験科目については、学生支援センターで所定の手続きをすれば、追試験が受験できます。

## 〔5〕補 講

休講のため規定の授業時間数に満たない場合には補講が行われます。

補講は次の方法で行います。

- 1) 指定された土曜日に実施します。補講日として指定された土曜日は『Handbook(学生手帳)』で確認してください。
- 2) 授業期間中の空き時間に行います。
- 3) その他教員の指示がある場合には、それに従ってください。

補講の連絡は、学生支援センター前ホール掲示板に掲示します。

※ 学生ポータルサイトを利用して、授業時間割確認及び休講・補講・教室変更情報等を参照できます。また、メッセージ転送設定を設定すると、登録されたアドレスに休講や補講等の情報が配信されます。

使用方法は、「ポータルサイト操作マニュアル」を参照してください。

## 〔6〕欠席・遅刻・早退

- 1) やむを得ない理由（試験欠席の理由に順ずる）で授業を欠席する場合は、所定の欠席届を授業担当教員に提出してください。
- 2) 授業の遅刻・早退に関する取り扱いは次のとおりです。
  - ① 授業開始時間に遅れた者は遅刻として取り扱います。
  - ② 授業終了まで受講していない者は早退として取り扱います。
  - ③ 遅刻及び早退は計3回をもって欠席1回とみなします。
  - ④ 1回の授業時間の3分の1以上（講義・演習科目は30分以上、実験・実習科目は45分以上）の遅刻及び早退は欠席として取り扱います。

## 試 験

### 〔1〕試験の種類と方法

試験の種類は、「期末試験」「追試験」及び「再試験」があります。

試験は、「筆記」「レポート」「論文」「作品」「実技・実習」等の方法で実施されます。

## 〔2〕 期末試験

- 1) 期末試験は、前期末に行うものを前期試験、後期末に行うものを後期試験とといいます。
- 2) 期末試験は、前期開講科目については前期試験において、後期及び通年開講科目については後期試験において実施します。

## 〔3〕 追試験

- 1) 追試験は、次の授業科目について、やむを得ない理由で試験を欠席した者に対し、本学が指定する日に行います。
  - ① 期末試験を実施した授業科目
  - ② 期末試験に代えて授業担当教員が随時に行う試験で、事前に学生支援センターに追試験期間中に実施する旨の申し出があった授業科目
- 2) レポート、作品等の方法で試験を実施した授業科目は追試験を実施しません。
- 3) 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しません。
- 4) 追試験の受験は、欠席理由が以下のいずれかに該当し、当該理由を証明するに足る書類が提出され、教授会が許可した者について認められます。

## 〔4〕 やむを得ない理由を証明する書類

	欠 席 理 由	提 出 書 類
①	親族の危篤、死亡	理由を証明する書類または写し
②	不慮の事故または災害	事故等を証明する書類
③	病気または負傷	医療機関発行の診断書
④	公共交通機関の事故または遅延	事故又は遅延証明書
⑤	保育実習・教育実習・医療秘書実務実習	証明書不要
⑥	就職試験（会社訪問は除く）の受験	本学所定の受験証明書
⑦	期末試験受験科目の実施日時の重複	本学所定の試験重複届
⑧	その他本学が認めた場合	理由を証明する書類

## 〔5〕 再試験

- 1) 再試験は、学生が期末試験を受験し、不合格となった授業科目について、前期開講科目は前期の再試験期間内において、後期及び通年開講科目については後期の再試験期間内において実施します。なお、試験に代えた授業レポート、作品等の方法で試験を受験し不合格となった授業科目も再試験を実施する場合があります。
- 2) 願い出が遅れた場合は受験資格はありません。
- 3) 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しません。また、追試験で不合格となった者に対して再試験は実施しません。
- 4) 校外での実習（生活学科「医療秘書実務実習」、保育学科「保育実習1 A」「保育実習1 B」「保育実習2」「教育実習」）が不合格になった場合の再試験は実施しません。



**〔6〕 追・再試験手続一覧**

	追 試 験		再 試 験
	受験を希望する者	受験を許可された者	
提出書類	試験欠席届 + 証明書類	追試験申込書 + 追試験願出票	再試験申込書 + 再試験願出票
提出期限	指定された期日 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)
出願科目数	上限なし		上限なし
提出先	学生支援センター		学生支援センター
受験手数料	1科目につき1,000円 (期末試験科目重複や校外実習による追試験は不要)		1科目につき2,000円

**〔7〕 受験資格**

次のいずれかに該当する場合は、受験資格がありません。

- 1) 履修登録をしていない授業科目。
- 2) 当該授業科目の規定授業時間数（半期7.5回、15回、通年30回）の3分の2以上出席していない者。
- 3) 学生証を所持していない者。
- 4) 試験開始後15分以上遅刻した者。
- 5) その他、教授会において受験資格がないと認められた場合。

**〔8〕 受験時の諸注意（期末試験、追・再試験）**

次の受験時の諸注意は必ず守ってください。

**〈受験態度〉**

受験の際は、終始公正な態度を保ち、いささかでも他から疑念をいだかれるような行為をしない。まぎらわしい行為は不正行為とみなされる場合がある。

**〈監督者の指示の遵守〉**

試験室においては、常に監督者の指示に従う。  
指示に従わなかった場合は、退室を命じられる。

**〈学生証の提示〉**

受験生は、監督者が学生証を確認しやすいように、机上に置く。もし学生証を忘れた場合は、学生支援センターに申し出て、証明書自動発行機で仮学生証の交付を受ける。  
ただし、仮学生証の有効期限は交付日のみとする。なお、交付のつど手数料1,000円が必要となる。  
また、学生証を紛失した場合は願い出れば、翌日の午前9時には再発行される。

**〈不正行為〉**

試験において万一不正行為があった場合、不正行為者の当該試験科目の評価は失格となる。また、不正行為のあった学期において既に実施済の科目および残された科目もすべて失格となる。  
不正行為者は、学則第43条の規定により懲戒処分となり、その氏名および処分内容を学内に公表される。  
また、本人および保証人はその通知を受ける。

**〈所持品の扱い〉**

試験中は学生証、筆記用具（特に指示のない限り、鉛筆・シャープペンシル・消しゴムのみ）、監督者が許可したもの以外は机上に置かない。  
その他の手荷物も机の中に入れておかないで、足元に置く。  
携帯電話等は試験室に入る前に電源を切っておく。また、これらを時計として使用することはできない。

**〈参照許可物件〉**

問題用紙に参照許可物件(テキスト、ノート、辞書等)が明示されている場合のみ、参照が許可される。

**〈遅刻〉**

遅刻は試験開始後15分までは認められる。ただし、遅刻して受験した試験の時間延長は認められない。  
 なお、遅刻により受験できなかった科目は失格となる。

**〈退室〉**

試験開始後30分を経なければ退室できない。途中退室する際は、答案を試験監督者に提出し静かに退室する。

**〈再入室の禁止〉**

いかなる場合でも、試験室からいったん退室したら再入室は認められない。

**〈答案用紙〉**

答案用紙は配付または指定されたものを使用し、書き損じたものや、白紙のものも提出する。

### 3. 成績について

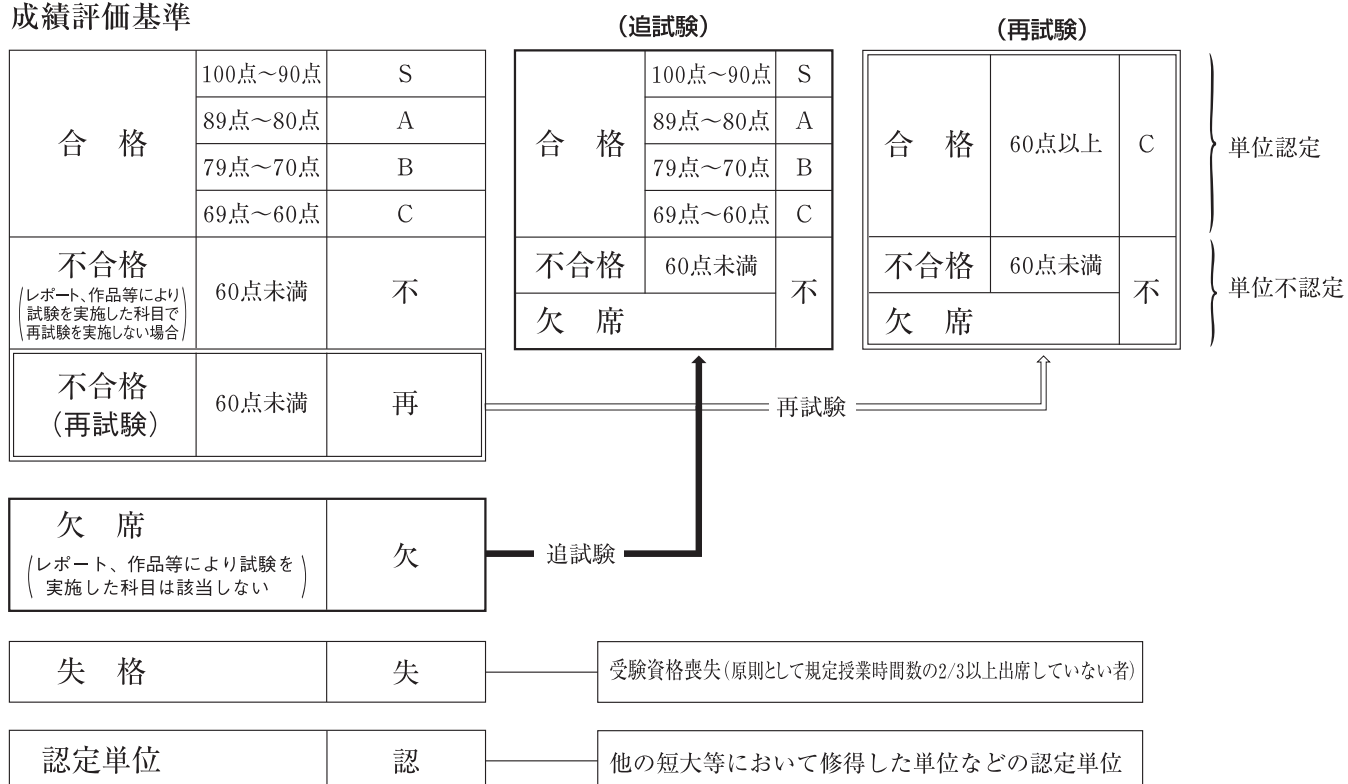
#### 〔1〕成績の評価・単位の認定

授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、S・A・B・C・不とし、C以上を合格として当該授業科目の単位を認定する。

ただし、当該学期学費未納者については、学費完納まで単位認定を保留する。

なお、100点満点に換算した点数の評価基準は、次のとおりとする。

#### 成績評価基準



成績

#### 〔2〕成績の通知

成績評価について、各学期の成績発表日に成績通知表を配布します。ただし、追・再試の結果は、学生ポータルサイトの成績照会で各自確認してください。既修得単位科目の成績(成績の累算)も成績照会で確認できます。

#### 〔3〕成績の問い合わせ

成績についての質問がある場合は、成績発表後3日以内(土・日・祝日除く)に学生支援センターに申し出て、「成績評価についての質問」に記入し提出してください。

## 4. GPAについて

GPAとは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、履修登録科目の評価等に対して、それぞれにGPを与え、獲得したポイント（GP×単位数）の合計を履修登録した総単位数で除した1単位あたりの成績平均値のことです。GPAを知ることによって、学業成績の状況を的確に判断し、自らの学修に対して主体的に自己評価することができ、その後の履修計画が適切にたてられます。

本学では、GPAを主に次の目的に利用するために導入しています。

- 1) 履修科目の安易な登録と、途中放棄の防止
- 2) GPA 評価平均が下位25%の学生に対する修学支援
- 3) 奨学金授与等における判定基準
- 4) 就職活動等における推薦者の選抜基準

### 〔1〕 GP（グレード・ポイント）

最終成績評価（S：4、A：3、B：2、C：1、不認定：0、失格：0、認定：-）

### 〔2〕 不合格科目等の取り扱い

成績評価が不合格の科目、失格となった科目のGPはすべて「0」としてGPAの算出対象となります。「認」は、GPAの算出対象外になります。

### 〔3〕 GPAの算出式

各科目の成績評価を成績値（GP）に換算し、科目の単位数を掛けて、合計単位数を当該期で履修登録した科目の総単位数で割ったものがGPAとなります。

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{Sの修得単位数}) + (3 \times \text{Aの修得単位数}) + (2 \times \text{Bの修得単位数}) + (1 \times \text{Cの修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

## 5. 単位互換制度について

単位互換制度とは大学間の協定に基づき、他の大学または短期大学で履修し修得した単位を在籍する大学の履修で修得したものとみなす制度です。本学では、「名古屋女子大学と名古屋女子大学短期大学部の単位互換に関する協定書」並びに、愛知学長懇話会に加盟する大学・短期大学において締結された「単位互換に関する包括協定」に基づく制度があります。

### 〔1〕名古屋女子大学との単位互換制度

名古屋女子大学の一部授業科目について履修し単位取得が可能です。学生は、下記の内容を十分に理解して手続きをしてください。

#### (1) 名古屋女子大学 単位互換科目一覧

授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	
全学共通科目	生 活 の 物 理	講 義	2
	数 学 の 世 界	講 義	2
	生 活 と 地 理	講 義	2

#### (2) 履修対象者

1年生後期以降の学生

#### (3) 単位数の算入

上記単位互換科目は、卒業要件の一覧表の単位互換科目の単位数として算入されます。

#### (4) 履修登録について

上記科目を履修する際は、「単位互換科目履修願」を学生支援センターへ提出する必要があります。手続き期限は以下のとおりです。

前期科目：4月第2木曜日まで 後期科目：9月第2木曜日まで

### 〔2〕愛知学長懇話会の単位互換制度

他大学の単位互換向けに開放される科目を履修し単位取得が可能です。詳しくは、学生支援センター前ホールの掲示板と愛知学長懇話会ホームページを確認してください。



# 教務関係の用語

## お オムニバス

複数の教員が授業内容を分担して受け持つ方式のことです。

## か 下級履修

下級学年に担当されている授業科目を履修することです。

### 科目等履修生制度

資格取得等のために必要でありながら、在学中に履修しなかった(できなかった)、あるいは単位を認定されなかった科目を、卒業後に履修して単位を修得できる制度のことです。

## き 期末試験

学期末に行われる試験のことです。

### CAP制

各学期・年間の履修登録科目数(単位数)の上限を設定する制度のことです。

### 休学

病気等により一定期間授業を受けない状態のことです。休学するには所定の書式で届け出る必要があります。

### 休講

学校行事や授業担当教員の都合により、授業が行われないことです。

### 教育課程(カリキュラム)

教育の目的や目標を達成するため、どのような教育内容(授業科目)を、どれだけ(単位数)、どのような方法(必修・選択の別、担当する学年、授業期間・方法等)で教授するかを計画したものです。

## け 欠席

やむを得ない理由(試験欠席の理由に順ずる)で授業を欠席する場合は、所定の欠席届を授業担当教員に提出してください。

## さ 在学

本学の学生として、現に学修している(授業を受けている)状態のことです。

### 再試験

試験を受験し、不合格となった科目について、再度実施する試験のことです。

### 再履修

不合格となった科目を再度履修することです。合格して単位を認定された科目を再履修することはありません。

## し GPA

Grade Point Average(グレード・ポイント・アベレージ)の略で、履修登録科目の評価等に対して、それぞれにGPを与え、獲得したポイント(GP×単位数)の合計を履修登録した総単位数で除した1単位あたりの成績平均値のことです。

## 失格（受験資格喪失）

当該授業科目の規定授業時間数（半期7.5回、15回、通年30回）の2／3以上出席しないと失格になり、試験が受けられません。

## 授業計画（シラバス）

授業内容の概要を記載したもので、履修登録をする際には必ず熟読してください。講義概要、講義要項などと呼ばれることもあります。一般的に授業科目名、担当者名、授業の目的と概要、授業の到達目標、授業計画、学習上の留意事項、授業外学習の指示、成績評価基準、テキスト、参考書、その他受講に際して必要な事項が記されています。

## 授業形態

授業実施方法のことで、次の5つに分けられます。

- 1) 講義 …… 教員が学生に対し、説明することを主として知識を授ける授業方法のことです。
- 2) 演習 …… 教員の講義とともに、学生も討議・発表等を行いつつ指導を受ける授業方法のことです。
- 3) 実験 …… 理論や推論が正しいかどうかを、一定の条件で試してみる授業方法のことです。
- 4) 実習 …… 実地について学習する授業方法のことです。
- 5) 実技 …… 実際に身体を用いて行う授業方法のことです。

開講時期・期間で区分すると、次の3つになります。

- 1) 通年 …… 1年間、毎週授業が行われます。
- 2) 半期 …… 前期あるいは後期の半年間、毎週授業が行われます。
- 3) 集中 …… 休業期間中などに、短期間（3～8日間程度）で授業が行われます。

## 除籍

学費未納等の理由により、遡って在籍していなかったものとみなされることです。

## せ 成績評価

単位を授与する際の基準と表記方法を示すものです。本学では、試験成績と平常成績を総合して判定し、90点以上をS，80点～89点をA，70点～79点をB，60点～69点をC，60点未満を不と表記することにしています。

## 選択科目

履修する、しないを自由に決められる科目のことです。

## 選択必修科目

複数の科目のうちから、1科目あるいは複数の科目を選んで単位を修得しなければならない科目のことです。未修得の場合は卒業が認められません。

## そ 卒業要件

卒業に必要な条件のことです。次の2つをともに満たさなければいけません。

- 1) 2年以上（保育学科第三部は3年以上）在学していること。休学の期間は含まれません。
- 2) 学科の課程を修了するのに必要な単位数を修得していること。

## た 退学

卒業前に、病気・その他やむを得ない事情で短大を辞めることです。

## 単位

授業科目の内容に必要となる学修量（時間）を示す基準のことです。所定の単位数を積み上げることにより、卒業できる制度のことを単位制といいます。

## 単位互換

協定を結んだ他大学・短大の授業科目を履修し修得した単位を、本学の授業科目を履修し修得したものとみなすことができる制度のことです。

## 単位の認定

本学では、成績評価がS，A，B，Cの場合、これを合格として単位を認定します。それ以外は不合格ですので、単位は認定されません。

## つ 追試験

病気等やむを得ない事由により、試験を受験できなかった者に対して実施する試験のことです。

## ひ 必修科目

必ず単位を修得しなければならない科目のことです。たとえ1科目でも未修得の科目があれば、卒業が認められません。

## ふ 復学

休学者が短大に復帰することです。

## へ 編入学

異なる制度の学校から第1学年の途中または第2学年以上に入学することをいいますが、短大を卒業して、大学の第3年次に入学するケースが一般的です。

## ほ 補講

休講により生じた授業時間数の不足を補うために実施される授業のことですが、休講がない場合でも、授業の進み具合によって実施されることがあります。

## り 履修

授業を受けて学修することです。

## 履修登録

どの授業科目を履修するか意思表示を行うことです。